VeriTrans4G 開発ガイド別冊
PayPay（オンライン決済）ご利用ガイド

Ver. 1.0.17 （2026 年 10 月～）

Copyright © 2026 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

目次

第 1 章　本ガイドの内容 3
1-1 本ガイドの内容 3
1-2 著作権、および問い合わせ先 3
1-3 改訂履歴 3

第 2 章　概要 8
2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要 8
2.1.1 都度決済について 9
2.1.2 随時決済について 10

第 3 章　MDK の処理概要 11
3-1 機能一覧（決済要求コマンド） 11
3-2 決済処理シーケンス 13

第 4 章　結果通知受信処理 24
4-1 結果通知受信処理の対象 24

第 5 章　インターフェイス詳細 25
5-1 PayPay（オンライン決済） 25
5.1.1 申込 25
5.1.2 再与信 28
5.1.3 取消 30
5.1.4 売上 31
5.1.5 返金 32
5.1.6 解約 33
5.1.7 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ 35
5-2 共通 37
5.2.1 検索 37
5-3 結果通知電文 41
5.3.1 結果通知電文の概要 41
5.3.2 結果通知のタイミング 42
5.3.3 結果通知項目 43

第 6 章　その他　補足事項 44
6-1 PayPay（オンライン決済）の注意事項 44
6.1.1 決済金額について 44
6.1.2 売上方式について（都度決済） 44
6.1.3 返金について 46
6.1.4 処理要求可能期間について 46
6.1.5 消費者における支払い／申込時間制限 46
6.1.6 随時決済の解約単位について 47

6-2 PayPay（オンライン決済） 文字制限に関する補足 49
6.2.1 使用可能文字一覧 49
6.2.2 機種依存文字 49
6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態） 50
6-4 PayPay アプリへのプッシュ通知 51
6-5 PayPay への遷移時に表示されるシステムエラーについて 52
6-6 スマートフォンでの都度決済における PayPay アプリ起動についての注意事項 52
6.6.1 スマートフォンアプリ（加盟店アプリ）のアプリ内ブラウザを利用する場合 52
6.6.2 加盟店アプリ利用時の遷移種別(transitionType)の指定について 53
6.6.3 加盟店アプリ利用時の PayPay 起動に問題が発生する場合の対処について 54
6-7 都度決済の売上、取消、返金で保留が発生した場合の対処について 54
6-8 随時決済の取引履歴に関する補足 55
6.8.1 再与信で消費者への「支払い要求通知」が送信された場合 55
6.8.2 「支払い要求」の取消を行った場合 55
6.8.3 再与信および取消、返金に対する「保留」が発生した場合の対処について 56

第 7 章 導入・テストに関する補足 58
7-1 決済申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする（都度決済） 58
7-2 決済申込/解約申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする（随時決済） 60
7-3 返金/取消/売上/再与信コマンドのエラーをシミュレートする 62

第1章 本ガイドの内容

1-1 本ガイドの内容

本ガイドは、株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが提供する VeriTrans4G の PayPay（オンライン決済）サービスをインターネット店舗に導入するための、アプリケーション開発者向けのガイドです。

VeriTrans4G の開発ガイドとの統合を行うまでの間、別冊でのご提供となります。

1-2 著作権、および問い合わせ先

[著作権]

本ドキュメントの著作権は株式会社 DG フィナンシャルテクノロジーが保有しています。

Copyright © 2026 DG Financial Technology, Inc., a Digital Garage company. All rights reserved.

[お問い合わせ先]

株式会社 DG フィナンシャルテクノロジー ベリトランス テクニカルサポート

電子メール： tech-support@veritrans.jp

1-3 改訂履歴

2020/3 ：Ver. 1.0.0 版リリース

2020/7 ：Ver. 1.0.1 版リリース

※与信後売上方式に対応しその内容を追加/修正しました。

「2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要」で支払い方法についての注意書きを追加

「3-1 機能一覧（決済要求コマンド）」に以下を追加

- 申込（与信） /Authorize
- 取消 /Cancel
- 売上 /Capture

「3-2 決済処理シーケンス」の返金処理の図を変更

（PayPay での処理完了後の PUSH 通知受信アクターに消費者アプリを追加）

「3-2 決済処理シーケンス」に以下を追加

- 取消処理
- 売上処理

「5.1.1 申込」の要求電文の withCapture フィールドを削除

「5.1.1 申込」の要求電文の pushUrl フィールドでダミー取引の場合のみ指定可の制約を削除

「5.1.3 返金」の要求電文の amount フィールドの説明を修正

「5-1 PayPay（オンライン決済）」に以下を追加

- 5.1.4 取消
- 5.1.5 売上

「5.2.1 検索」の要求電文の command フィールドに以下を追加

- ″ Authorize ″：申込（与信）
- ″ Cancel ″：取消
- ″ Capture ″：売上

「5.2.1 検索」の応答電文の withCapture フィールドの説明を修正

「5.2.1 検索」の応答電文に以下を追加

- 取消日時
- 売上日時

「5.3.1 結果通知電文の概要」の機能概要の注意書きを修正

「6.1.2 売上方式について」を追加

「6.1.3 返金について」に記載していた要求可能期間の表を「6.1.4 処理要求可能期間について」に追加

「6.1.4 処理要求可能期間について」を追加

「6.1.5 消費者における支払い時間制限」を追加

「6.2.1 使用可能文字一覧」に 注文の説明（orderDescription） を追加

「6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態）」の表を修正

VeriTrans4G PayPay（オンライン決済）ご利用ガイド

「6.4 PayPay アプリへのプッシュ通知」で以下を修正

- 決済番号の説明を修正
- 決済申込完了時、与信後売上方式の場合に通知される「与信期限」を追加
- 取消完了時、売上完了時の通知を追加

「7-1 決済申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする」で以下を修正

- 決済結果画面からの遷移先の対応表から、購入内容確認画面での「失敗：不正なパラメータ」のパターンを削除
- 上記パターンの削除に伴い、図 7-1-2 疑似環境（ダミーPayPay ページ 購入内容確認画面）を差し替え

「7-2 返金/取消/売上コマンドのエラーをシミュレートする」を追加

2020/8 ：Ver. 1.0.2 版リリース

「5.1.2 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」の項目名の誤りを修正

誤： txnType

正： command

2021/02 ：Ver. 1.0.3 版リリース

「3-2 決済処理シーケンス」の決済申込時の処理の図および表で「4. 申込結果通知」の通知名称を「5-3 結果通知電文」に定義している通知機能名に合わせて「4. 決済申込完了通知」に変更しました。

「5.2.1 検索」の応答電文 serviceType を追加、階層を修正

「5.3.2 結果通知のタイミングと項目について」の結果通知項目「通知件数（numberOfNotify）」の説明で、
1 度に通知可能な件数を 1,000 件⇒100 件に修正

「6.1.2 売上方式について（都度決済）」の「与信有効期限について」の説明を修正し MAP 画面の画像を差し替え

※以下、オンライン決済（随時決済）に対応しその内容を追加/修正しました。

「2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要」に課金種別による利用可能決済を追加

「2.1.1 都度決済について」を追加

「2.1.2 随時決済について」を追加

「3-1 機能一覧（決済要求コマンド）」で以下を修正

- 決済要求コマンドに「再与信」、「解約」を追加
- 「申込」、「取消」コマンドの概要に随時決済の内容を追加
- 使用可能な一覧表に都度決済、随時決済の列を追加し各決済種別で利用可能なコマンドを記載

「3-2 決済処理シーケンス」で随時決済の決済処理シーケンスを追加し図表番号を更新

「4-1 結果通知受信処理」で以下を修正

- 通知対象一覧を課金種別毎の通知内容に修正
- 通知対象機能に「再与信」、「解約」、「抹消」を追加

「5.1.1 申込」の要求電文で以下を修正

- 課金種別（accountingType） を追加
- 決済金額（amount） の説明を修正

「5.1.2 再与信」を追加

「5.1.3 取消」の要求電文の取引 ID（orderId）の説明に随時決済取引の場合の指定についてを追加

「5.1.5 返金」の要求電文の取引 ID（orderId）の説明に随時決済取引の場合の指定についてを追加

「5.1.6 解約」を追加

「5.1.7 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」で以下を修正

- 章立てを 5.1.2 から移動。それに伴って「返金」、「取消」、「売上」の章立てを繰り上げ/順番修正。
- 顧客決済情報（userKey） を追加

「5.2.1 検索」の要求電文で以下を修正

- 「5.2.1 検索」の要求電文の command フィールドに「"ReAuthorize"：再与信」を追加
- PayPay（オンライン決済）固有の検索要求フィールドに課金種別（accountingType）を追加

「5.2.1 検索」の応答電文の PayPay（オンライン決済）固有の検索結果フィールドに以下を追加

- 解約日時（terminateDatetime）
- 課金種別（accountingType）
- 元取引 ID（originalOrderId）
- 顧客決済情報（userKey）

「5.3.2 結果通知のタイミングと項目について」で結果通知機能に「解約申込完了通知」「抹消通知」「再与信完了通知」を追加

「5.3.2 結果通知のタイミングと項目について」の結果通知項目で以下を修正

- トランザクションタイプ（txnType）に Terminate、Deregistration、ReAuthorize を追加
- 課金種別（accountingType）を追加
- 顧客決済情報（userKey）を追加
- 元取引 ID（originalOrderId）を追加

「6.1.2 売上方式について」を「6.1.2 売上方式について（都度決済）」に修正

VeriTrans4G PayPay（オンライン決済）ご利用ガイド

「6.1.4 処理要求可能期間について」で以下を修正
- 要求種類に「再与信」、「解約」を追加
- 要求可能期間の説明を都度決済、随時決済に分割

「6.1.5 消費者における支払い時間制限」を「6.1.5 消費者における支払い／申込時間制限」に修正し、随時決済の内容を追加
「6.1.6 随時決済の解約単位について」を追加
「6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態）」の詳細コマンドタイプに以下を追加
- 承諾
- 決済認可(解約)
- 解約(3 者間)
- 解約(2 者間)
- 抹消
- 売上要求（与信売上）
- 売上要求取消（与信売上）

「6-4 PayPay アプリへのプッシュ通知」で以下を修正
- 表を「プッシュ通知に表示される項目」と「プッシュ通知タイミングと通知内容」に分けて説明

「7-1 決済申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする」を
「7-1 決済申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする（都度決済）」に修正
「7-2 決済申込/解約申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする（随時決済）」を追加
「7-3 返金/取消/売上/再与信コマンドのエラーをシミュレートする」を随時決済の内容を追加して修正

2021/11 ：Ver. 1.0.4 版リリース
「5.1.1 申込」「5.1.2 再与信」の itemName(商品名)、itemId(商品 ID)に説明を追加
「5.3.2 結果通知のタイミングと項目について」に注意書きを追加
「6-5 PayPay への遷移時に表示されるシステムエラーについて」を追加

2022/06 ：Ver. 1.0.5 版リリース
「6.1.2 売上方式について（都度決済）」に、売上方式変更時の注意事項を追記

2022/12 ：Ver. 1.0.6 版リリース
「2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要」の支払方法に PayPay あと払いを追加
「5.1.2 再与信」「5.1.7 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」
「5.2.1 検索」「5.3.2 結果通知のタイミングと項目について」の paypayOrderId の書式・制限を修正
「6.1.3 返金について」の部分返金の補足説明を削除。
「6-2 PayPay（オンライン決済） 文字制限に関する補足」の、01 区、02 区の内容の軽微な修正

2023/07 ：Ver. 1.0.7 版リリース
「5.2.1 応答電文」に merrMsg を追加

2023/09 ：Ver. 1.0.8 版リリース
全体的な形式を修正
- 見出しの分割、リネーム
- 文言修正

「第 2 章 PayPay（オンライン決済）概要」を「第 2 章 概要」に変更
「2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要」
- 支払い方法の説明を修正

「2.1.2 随時決済について」
- ⑤の説明から返金処理の制約に関する内容を削除
- ⑤の解約処理に関する説明を修正

「3-1 機能一覧（決済要求コマンド）」
- 「申込（与信）」と「申込（承諾）」を別行で定義
- 表に関する注意事項を追加
- 各決済でのコマンドの実施可能タイミングを示す図を追加

「3-2 決済処理シーケンス」
- 文言修正
- 以下のシーケンスに結果通知(PUSH)の受信を強調する文言を追加
  【都度決済 ： 決済申込時の処理（PC のみ/スマートフォンのみ）】
  【都度決済 ： 決済申込時の処理（PC＋スマートフォン）】
  【随時決済 ： 決済申込時の処理】
  【随時決済 ： 消費者を介する解約（3 者間）】

VeriTrans4G PayPay（オンライン決済）ご利用ガイド

「4-1 結果通知受信処理の対象」
- 表中の凡例について各課金種別で使用できないコマンドは「×」に変更
- 説明を修正

「5.1.1 申込」
- 要求電文の設定列を都度/随時に分割
- 要求電文の「successUrl(決済完了時 URL)」、「cancelUrl(決済キャンセル時 URL)」、「errorUrl(決済エラー時 URL)」、「pushUrl(プッシュ先 URL)」の桁数を 256⇒1024 桁以内に変更
- 要求電文に「transitionType(遷移種別)」、「extendParameterType(拡張パラメータフラグ)」を追加
- 要求電文から「withCapture(与信同時売上フラグ)」を削除

「5.1.2 再与信」
- 要求電文の「pushUrl(プッシュ先 URL)」の桁数を 256⇒1024 桁以内に変更
- 応答電文の「paypayOrderId」の項目名を「PayPay 取引 ID」⇒「決済センターとの取引 ID」に変更
- 応答電文に「centerOrderId(決済センターの管理番号)」を追加

「5.1.6 解約」
- 要求電文の「successUrl(決済完了時 URL)」、「cancelUrl(決済キャンセル時 URL)」、「errorUrl(決済エラー時 URL)」、「pushUrl(プッシュ先 URL)」の桁数を 256⇒1024 桁以内に変更

「5.1.7 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」
- 設定列を都度/随時に分割
- 「paypayOrderId」の項目名を「PayPay 取引 ID」⇒「決済センターとの取引 ID」に変更
- 拡張パラメータとして「centerOrderId(決済センターの管理番号)」を追加
- 結果通知取得の重要性を追記
- 「この改ざんチェックは必須ではありませんが」の「必須ではありませんが」を削除

「5.2.1 検索」
- 応答電文の PayPay 固有オーダー情報に「centerOrderId(決済センターの管理番号)」を追加

「5.3.2 結果通知のタイミング」
- 見出し名称を「結果通知のタイミングと項目について」から変更

「5.3.3 結果通知項目」を追加
- 見出しを追加し 5.3.2 に定義していた通知項目の説明を移動
- 通知項目の表を修正
- 「paypayOrderId」の項目名を「PayPay 取引 ID」⇒「決済センターとの取引 ID」に変更
- 拡張パラメータとして「centerOrderId(決済センターの管理番号)」を追加

「6-4 PayPay アプリへのプッシュ通知」
- 決済番号の連携に関する補足事項を追加

「6-6 遷移種別(transitionType)の指定について」を追加

「2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要」の支払方法の名称を「PayPay（クレジット）※旧あと払い」「PayPay（残高）」に変更「6.1.2 売上方式について（都度決済）」にテストアカウントの記載を追加

2023/09 ：Ver. 1.0.9 版リリース

「2.1.1 都度決済について」
- 図のタイトル（PC のみ/スマートフォンのみで決済）を、（PC で決済）に修正し、（スマートフォンで決済）の図を追加

「3-2 決済処理シーケンス」
- 図 3-2.1 MDK 利用時システム処理概要図（PC/スマートフォンによる PayPay（オンライン決済）の都度決済申込）の図中、および表中の「3 HTML コンテンツ表示」と「5 完了画面要求」の処理説明にスマートフォンをご利用の場合の説明を追加

「6-6 スマートフォンでの都度決済における PayPay アプリ起動についての注意事項」を追加し、「6-6 遷移種別(transitionType)の指定について」を削除

「6.6.1 スマートフォンアプリ（加盟店アプリ）のアプリ内ブラウザを利用する場合」を追加

「6.6.2 加盟店アプリ利用時の遷移種別(transitionType)の指定について」を追加

2024/01 ：Ver. 1.0.10 版リリース

全体を通して随時決済の「再与信」に関する説明を分かりやすく修正

「6.6.3 加盟店アプリ利用時の PayPay 起動に問題が発生する場合の対処について」を追加

「6-7 都度決済の売上、取消、返金で保留が発生した場合の対処について」を追加

「6-8 随時決済の取引履歴に関する補足」を追加

2024/03 ：Ver. 1.0.11 版リリース

「2-1 Paypay(オンライン決済)サービスの概要」
- PayPay（クレジット）※旧あと払いを、PayPay クレジットに変更

VeriTrans4G PayPay（オンライン決済）ご利用ガイド

2024/06 ：Ver. 1.0.12 版リリース

「6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態）」

- 詳細コマンドタイプ「RefundPostAuth」の論理名を"返金(売上)"から"返金(売上)(残高あり)"に変更
- 詳細コマンドタイプ「VoidPostAuth」の論理名を"取消(売上)"から"返金(売上)(残高なし)"に変更
- 詳細コマンドタイプ「RefundAuthCapture」の論理名を"返金(与信売上)"から"返金(与信売上)(残高あり)"に変更
- 詳細コマンドタイプ「VoidAuthCapture」の論理名を"取消(与信売上)"から"返金(与信売上)(残高なし)"に変更
- コマンド成功時の詳細オーダー決済状態「VoidPostAuth」の論理名を"取消(売上)"から"返金(売上)(残高なし)"に変更
- コマンド成功時の詳細オーダー決済状態「VoidAuthCapture」の論理名を"取消(与信売上)"から"返金(与信売上)(残高なし)"に変更

2024/07 ：Ver. 1.0.13 版リリース

「6-4 PayPay アプリへのプッシュ通知」

- PayPay から返戻される「決済番号」の項目名を「取引番号」に変更

2024/12 ：Ver. 1.0.14 版リリース

「2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要」

- 概要説明の内容を修正
- 支払方法のクレジットカード、PayPay 商品券を削除
- 課金種別の説明を修正

「2.1.1 都度決済について」

- 「PC で決済」「PC+スマートフォンで決済」の場合の画面遷移イメージ図を修正

「3-2 処理シーケンス」

- 以下のシーケンスで図表の決済申込部からの応答処理の文言および説明を修正
  【都度決済 ： 決済申込時の処理（PC のみ/スマートフォンのみ）】
  【都度決済 ： 決済申込時の処理（PC＋スマートフォン）】
  【随時決済 ： 決済申込時の処理】
  【随時決済 ： 消費者を介する解約（3 者間）】

「5.1.1 申込」

- 応答電文に「authStartUrl(認証開始 URL)」を追加

「5.1.6 解約」

- 応答電文に「authStartUrl(認証開始 URL)」を追加

「6.1.1 決済金額について」

- 上限金額の表を削除し、説明を修正

2025/04 ：Ver. 1.0.15 版リリース

「userKey(顧客決済情報)」に関する記載を削除

2025/08 ：Ver. 1.0.16 版リリース

「5.3.1 結果通知電文の概要」の「結果通知受信処理結果について」の説明を修正。

「6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態）」
指定可能な検索パラメータを取引 ID のみに変更

2026/10 ：Ver. 1.0.17 版リリース

「3-1 機能一覧(決済要求コマンド)」の表 3-1-1 の「※2」を「売上」に付加、「申込」「再与信」から削除。

「5.1.1 申込」「5.1.6 解約」の cancelUrl 説明を修正。

「5.1.7 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ」
改ざんチェック用ハッシュ値の説明にあるパスワードを「マーチャント認証鍵」に修正。
（重要）欄に完了画面の定義およびキャンセル機能（cancelUrl）が現在使用・遷移されない旨を追加。

「5.2.1 検索」
応答電文の PayPay 固有オーダー情報に「balance（残高）」を追加

第2章 概要

2-1 PayPay（オンライン決済）サービスの概要

PayPay（オンライン決済）サービスは、

VeriTrans4G 加盟店様のサイトで購入された商品の代金を、PayPay で決済できるサービスです。

- PayPay アプリの利用登録を行ったユーザが利用でき、以下の方法で決済ができます。
  - 携帯電話番号とパスワード
  - PayPay アプリで QR コードをスキャン

  ※PayPay アプリに通知されるワンタイムパスワードの入力を求められる場合もあります。
- PC/スマートフォンでの決済が可能です。
- PayPay（オンライン決済）の支払方法は以下になります。
  - PayPay（残高）
  - PayPay クレジット

  ※支払い方法については追加される可能性があります。詳細につきましては以下も併せてご確認ください。

  https://paypay.ne.jp/guide/net-service/
- 以下の 2 つの「課金種別」に対応しています。
  - 都度決済
  - 随時決済

  PayPay 社のレギュレーションにより加盟店様の商品・サービスによって利用可能な課金種別に条件がある場合がございます。

  詳細につきましては営業担当までご相談ください。

2.1.1 都度決済について

【都度決済機能】

消費者の購入した商品などについて、1 回だけ決済を行います。

都度決済機能には以下の特徴があります。

① 都度決済の申込は「課金種別」を未指定、あるいは都度決済を指定して行います。

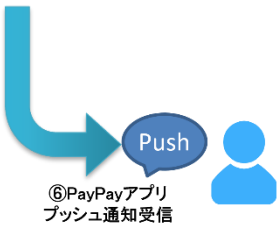
② 都度決済の申込は、消費者の端末から行います。

③ 与信取消、売上、売上後の返金は MDK または管理画面（MAP）から可能です。

決済の画面遷移のイメージを以下に示します。

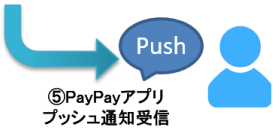
（PC で決済）





（スマートフォンで決済）

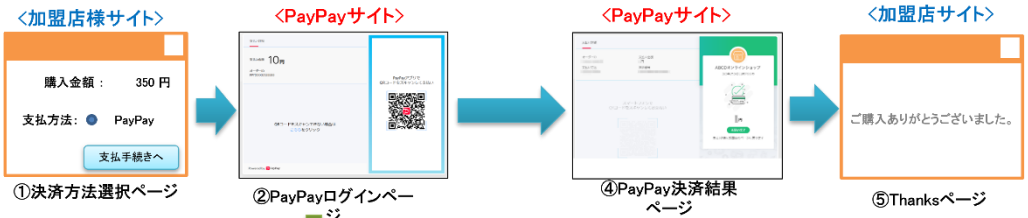




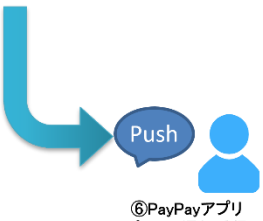
◇スマートフォンでの決済では、加盟店サイトから PayPay アプリが起動し、PayPay アプリの操作により決済が完了します。

PayPay アプリの起動は SB ペイメントサービス様（以下、SBPS）の制御により自動で行われますが、何らかの理由で PayPay アプリが起動しなかった場合は、PC と同様にブラウザ上での遷移となります。

（PC＋スマートフォンで決済）







2.1.2 随時決済について

【随時決済機能】

店舗様と利用者の継続的な利用の承諾に基づき、商品などの提供状況に応じて加盟店の処理要求単位に課金することができます。

解約手続き（利用承諾の終了）が行われるまで、店舗様からの要求の都度、課金が発生します。

随時決済は定期購入商品/サービスの提供にのみご利用いただけます。

① 随時決済の申込（利用承諾）は「課金種別」に随時決済を指定し、都度決済と同様のフローで行います。
※申込フローでは利用承諾のみを行うため金額指定はできません。

② 随時決済の申込は、消費者の端末から行います。

③ 課金の実行は店舗様のシステムから行います。
①の取引 ID を元取引 ID に指定し、新しい取引 ID と金額を指定して再与信を行います。与信に問題がなければ、同時に売上が確定します。**（随時決済の再与信は「与信同時売上」となります。）**

④ 再与信時に残高が不足していた場合に、消費者に支払い要求（支払いを促すプッシュ通知）を送ることができます。

⑤ ④の支払い要求を取消（キャンセル）することもできます。

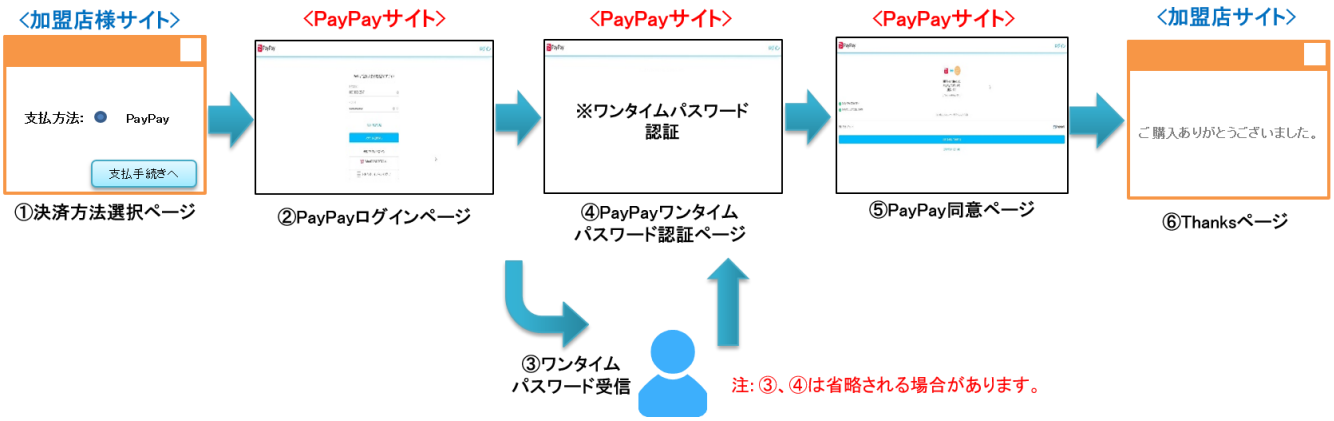
⑥ 返金が必要になった場合は、③の再与信時の取引 ID に対して返金を実行します。
返金は MDK または管理画面（MAP）から実行可能です。

⑦ 随時決済の解約が行われるまで③④⑤⑥を何度でも実施できます。
ただし、消費者による PayPay アプリからの解約により利用承諾終了となる場合があり、抹消通知が店舗様に通知されます。

⑧ 随時決済の解約は MDK または管理画面（MAP）から可能です。
MDK の場合、消費者端末からの解約処理(3 者間)もしくは消費者を介さず加盟店での強制解約処理(2 者間)のいずれかで行うことができます。

申込の画面遷移イメージを以下に示します。

※随時決済の場合、PayPay アプリがインストールされたスマートフォンから申込する場合でも PayPay アプリとは連動されず Web サイト上での申込となります。



第3章 MDKの処理概要

3-1 機能一覧（決済要求コマンド）

使用可能な決済要求コマンドを下記表に示します。

決済要求種類/コマンド	概要	都度決済	随時決済
申込（与信）/Authorize	決済の申し込み（オーソリ）を要求します。（※1）	○	－
申込（与信＋売上）/Authorize	決済の申し込み（オーソリ）と売上を同時に要求します。（※1）	○	－
申込（承諾）/Authorize	利用承諾を要求します。 要求パラメータの accountingType を 1 に設定し、随時決済の申込を行います。	－	○
再与信/ReAuthorize	随時決済の利用承諾を取得した取引を元取引として、 再与信（オーソリ）と売上を同時に要求します。 要求電文のパラメータを調整することで、再与信実行時に消費者の残高不足で決済処理ができなかった場合でも消費者に対して支払い要求を送信し決済処理を促すことが可能です。 詳しくは「5.1.2 再与信」をご参照下さい。	－	○
取消/Cancel	【都度決済】 決済を取消（キャンセル）します。 売上前の取引に対してのみ実行でき、与信（オーソリ）の取消となります。 【随時決済】 再与信で残高不足による消費者への支払い要求が行われている最中に、その要求を取消します。 支払いが完了していた場合には、取消ではなく返金の実行が必要です。	○	○
売上/Capture	申込済み取引の売上確定を要求します。	○（※2）	－
返金/Refund	売上確定済みの取引に対し返金します。	○	○
解約/Terminate	随時決済の解約を要求します。 消費者を介する解約（3 者間）もしくは加盟店による強制解約(2 者間)のいずれかの要求が可能です。	－	○

表 3-1-1 使用可能なコマンド一覧

※1 申込（与信）コマンドと、申込（与信＋売上）コマンドのどちらを利用するか（売上処理を与信の後に行うか、与信と同時に行うか）は、あらかじめ加盟店契約の際に決めていただく必要があります。「6.1.2 売上方式について（都度決済）」をご参照ください。

※2 物品販売の場合は、商品を発送する前に売上を行うことは禁止されていますので、商品の発送後に売上を行うか、多少の前後は問題ございませんので、できる限り消費者への商品発送と同じタイミングで売上を行うようにしてください。PayPay(オンライン決済)のレギュレーション事項となりますので、詳細につきましては弊社までご連絡ください。

以下で各決済のコマンドの実施可能タイミングを図示します。

【都度決済】

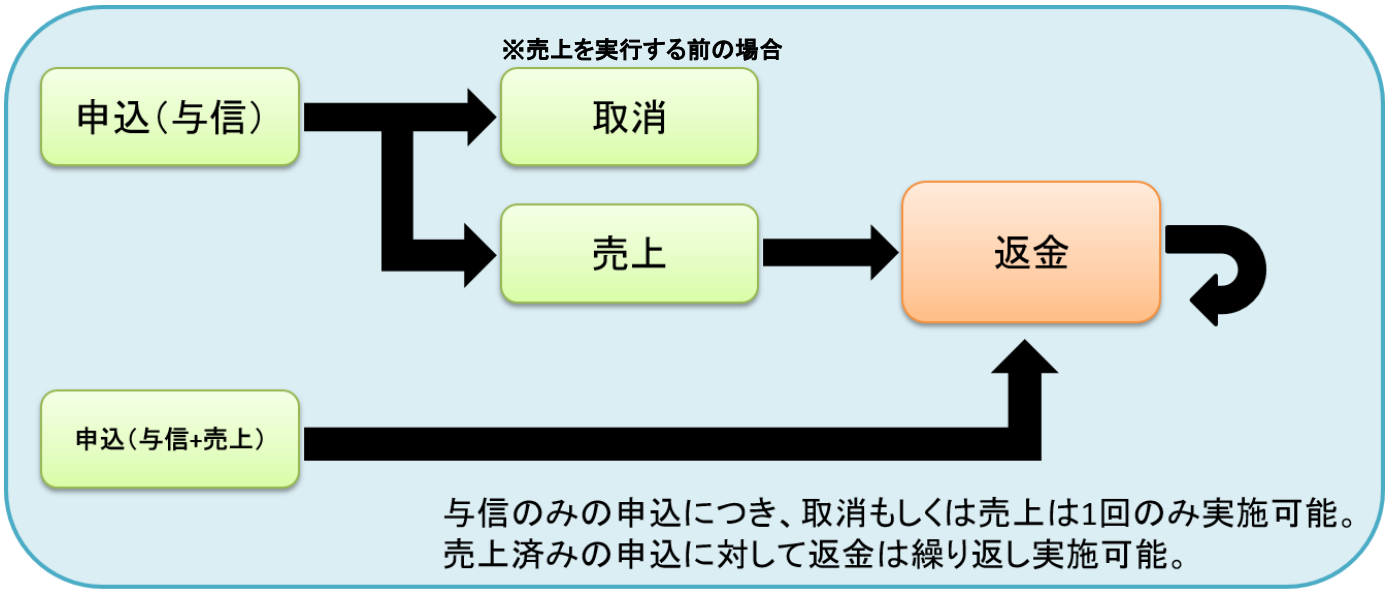


図 3-1-1 都度決済の各コマンド実施可能タイミング

【随時決済】

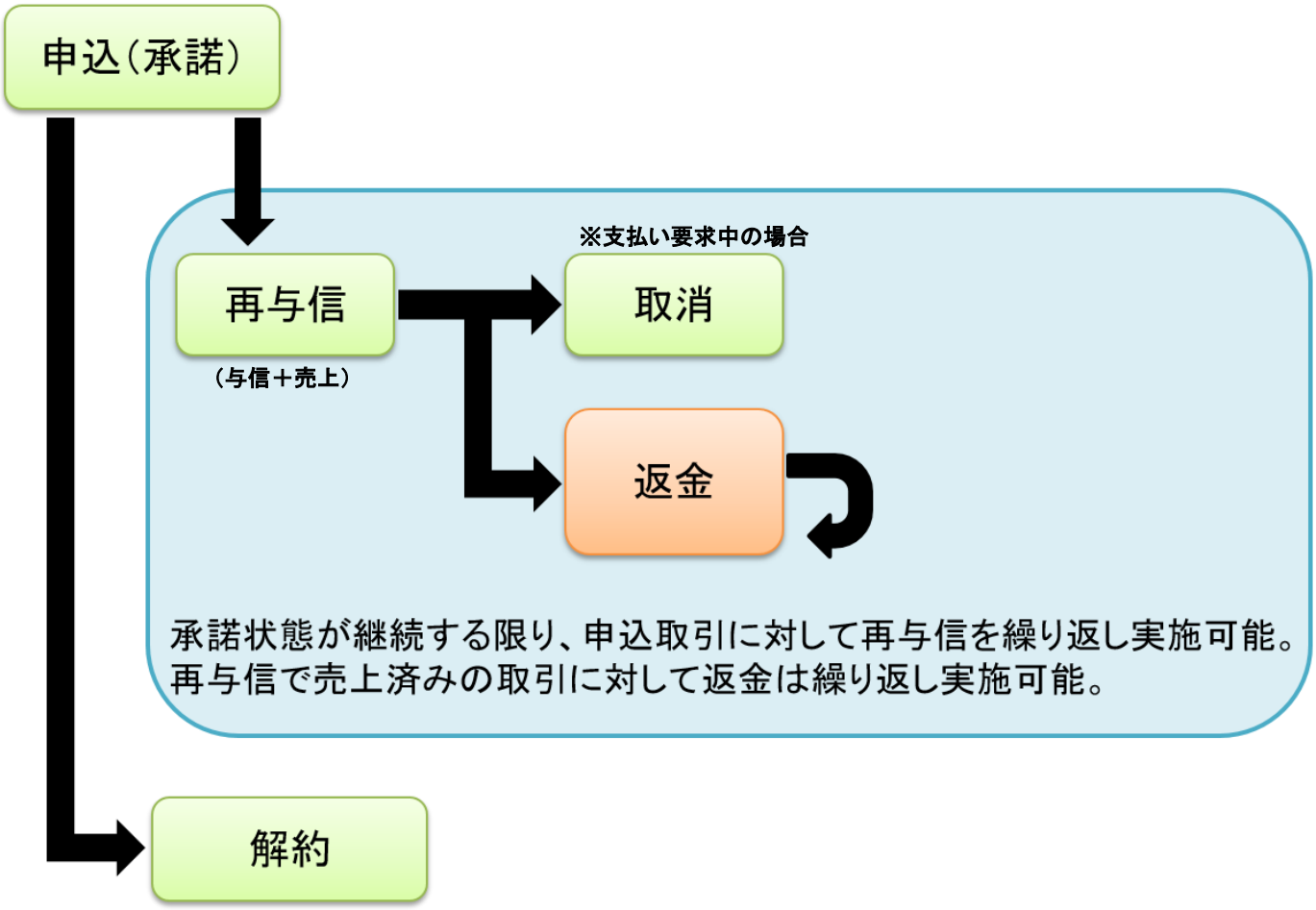


図 3-1-2 随時決済の各コマンド実施可能タイミング

3-2 決済処理シーケンス

【都度決済 ： 決済申込時の処理（PC のみ/スマートフォンのみ）】

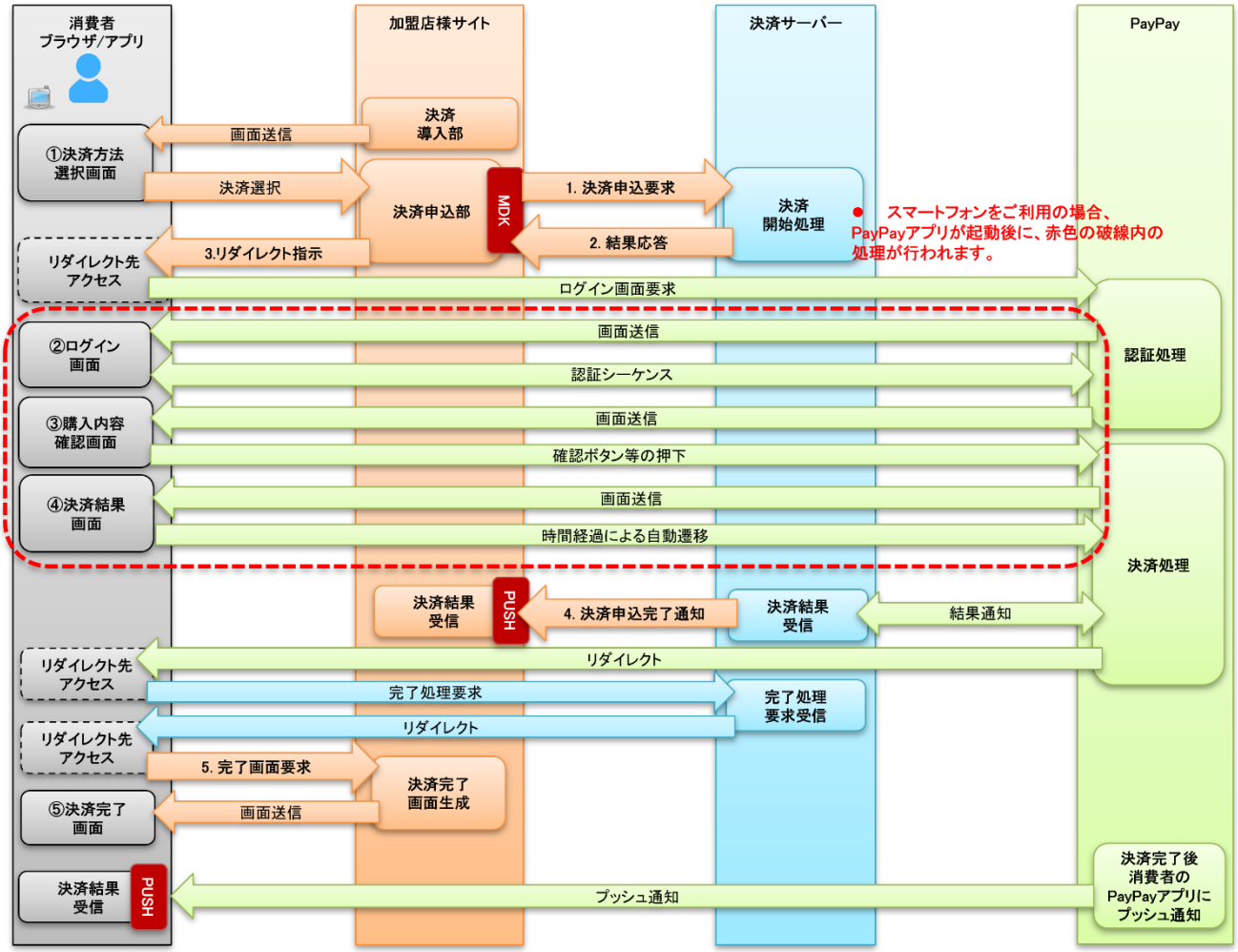


図 3-2-1 MDK 利用時システム処理概要図（PC/スマートフォンによる PayPay（オンライン決済）の都度決済申込）

No.	基本機能	処理説明
1	決済申込要求	EC サイト上の決済導入部に渡された決済申込情報を電文化し決済サーバーに送信します。
2	結果応答の受信	決済サーバーから返戻された結果を受信します。結果が決済可能の場合、「3. HTML コンテンツ表示」を実施します。ログインページにリダイレクトを行う JavaScript を含んだ、HTML コンテンツが決済サーバーより返戻された結果に含まれます。
3	リダイレクト指示	決済サーバーから返戻された以下パラメータのどちらかを利用して、消費者ブラウザを画面遷移させます。 ・authStartUrl（認証開始 URL） ・responseContents（自動遷移用の JavaScript を含む HTML コンテンツ） PC で決済をご利用の場合はログインページに遷移します。 スマートフォンでの決済では、PayPay アプリが起動します。PayPay アプリの起動は SBPS システムの制御により自動で行われますが、何らかの理由で PayPay アプリが起動しなかった場合には、PC と同様にブラウザ上でログインページへの遷移となります。
4	決済申込完了通知(PUSH)	この通知は、決済申込により与信が成功した場合のみ通知されます。 リクエスト時に指定した PUSH 通知先 URL（未指定の場合は、MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値）に、決済サーバーより POST で通知されますので、決済結果を受け

		取り、注文データ等に反映します。 **完了画面要求は、消費者の端末（PC やスマートフォン）のネットワーク環境の問題や、誤操作（ブラウザやタブを閉じてしまう等）により、正しく行われない可能性がありますので、必ずこの通知を受信してください。** なお、この通知と完了画面要求のリダイレクト結果が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。
5	完了画面要求	消費者ブラウザから結果を受信し、完了画面を送信します。 消費者側の状況により通信断や誤ってブラウザを閉じる、といったケースではこのシーケンスは発生しませんが、4.決済申込完了通知（PUSH）を受信していれば、決済結果を取りこぼすことはありません。 **（重要）** **スマートフォンでの決済で PayPay アプリが起動した場合、決済が完了すると PayPay が標準ブラウザを起動して画面遷移させるため、完了画面要求は「標準ブラウザ」を介して行われます。そのため、決済を開始したブラウザとは異なるブラウザが起動したり、同じブラウザの場合にも新しいタブが開いて加盟店様の URL が呼び出されることになりますが、このような場合にも、加盟店様の URL が呼び出された際には弊社からの決済結果を受け取り、正常に処理できるように実装してください。**

【都度決済 ： 決済申込時の処理（PC＋スマートフォン）】

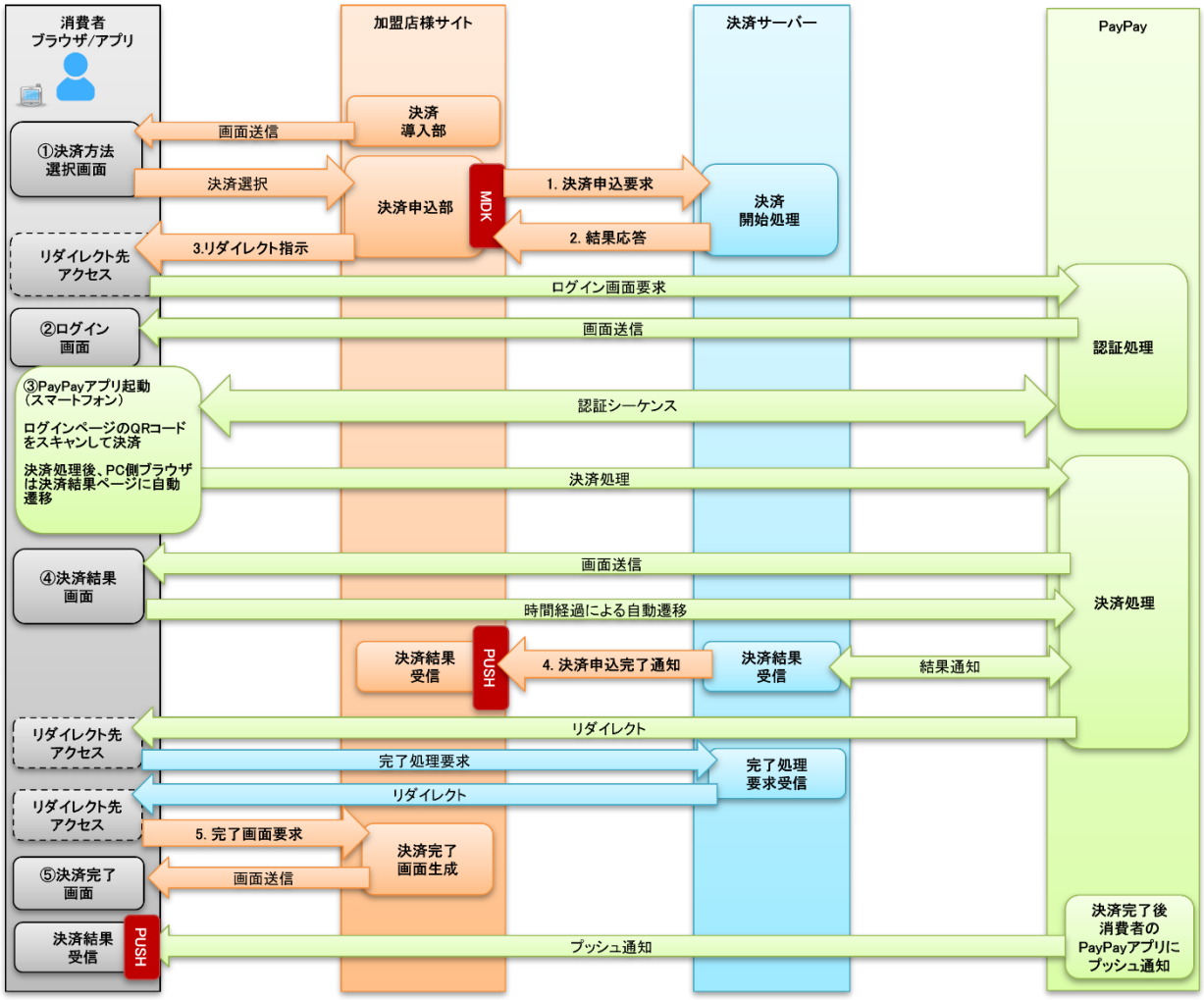


図 3-2-2 MDK 利用時システム処理概要図（PC＋スマートフォンによる PayPay（オンライン決済）の都度決済申込）

No.	基本機能	処理説明
1	決済申込要求	EC サイト上の決済導入部に渡された決済申込情報を電文化し決済サーバーに送信します。
2	結果応答の受信	決済サーバーから返戻された結果を受信します。結果が決済可能の場合、「3. HTML コンテンツ表示」を実施します。ログインページにリダイレクトを行う JavaScript を含んだ、HTML コンテンツが決済サーバーより返戻された結果に含まれます。
3	リダイレクト指示	決済サーバーから返戻された以下パラメータのどちらかを利用して、消費者ブラウザを画面遷移させます。 ・authStartUrl（認証開始 URL） ・responseContents（自動遷移用の JavaScript を含む HTML コンテンツ）
4	決済申込完了通知(PUSH)	この通知は、決済申込により与信が成功した場合のみ通知されます。 リクエスト時に指定した PUSH 通知先 URL（未指定の場合は、MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値）に、決済サーバーより POST で通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。 **完了画面要求は、消費者の端末（PC やスマートフォン）のネットワーク環境の問題や、誤操作（ブラウザやタブを閉じてしまう等）により、正しく行われない可能性がありますので、必ずこ**

		の通知を受信してください。 なお、この通知と完了画面要求のリダイレクト結果が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください。
5	完了画面要求	消費者ブラウザから結果を受信し、完了画面を送信します。 消費者側の状況により通信断や誤ってブラウザを閉じる、といったケースではこのシーケンスは発生しませんが、4.決済申込完了通知（PUSH）を受信していれば、決済結果を取りこぼすことはありません。

【随時決済 ： 決済申込時の処理】

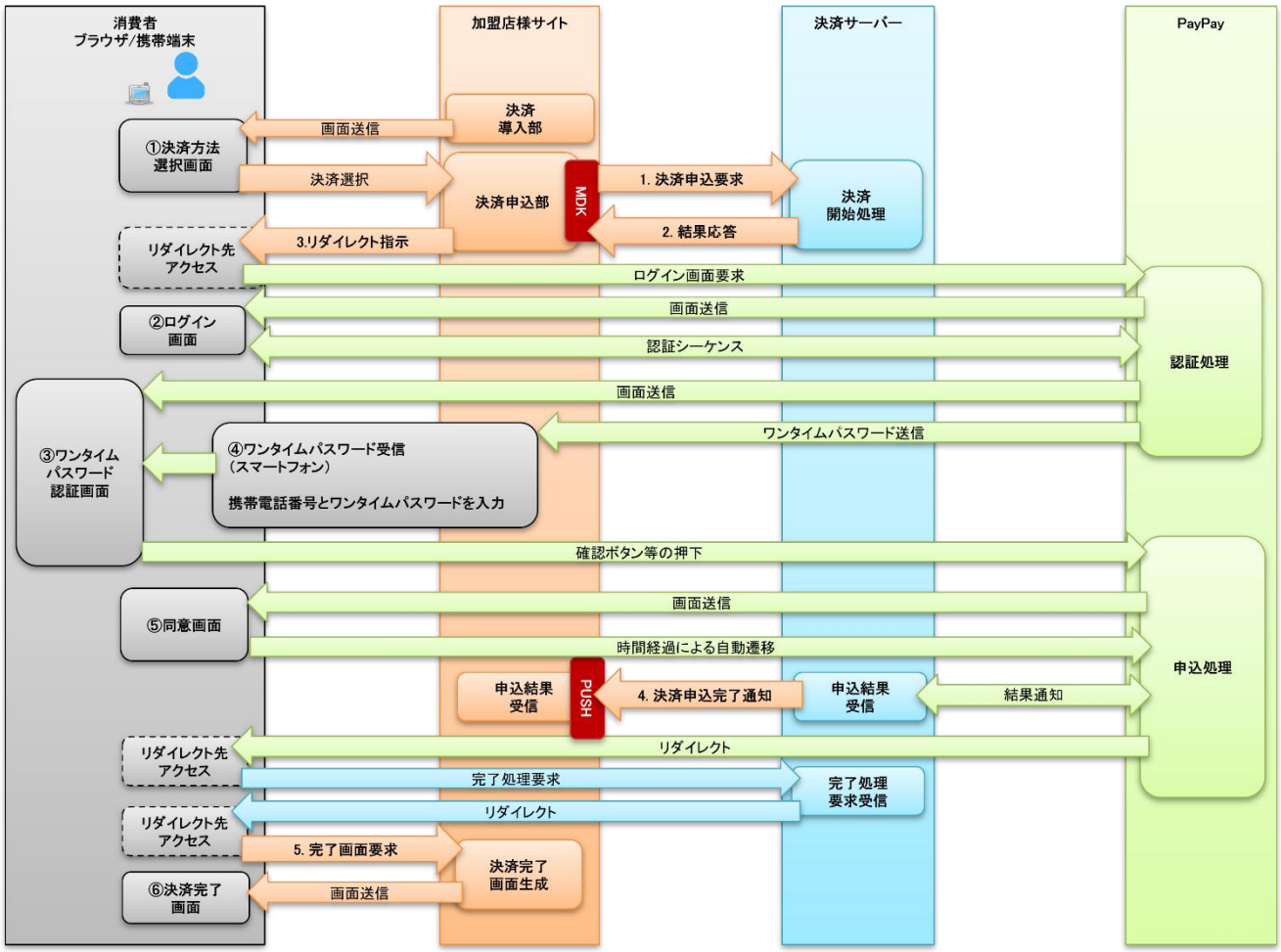
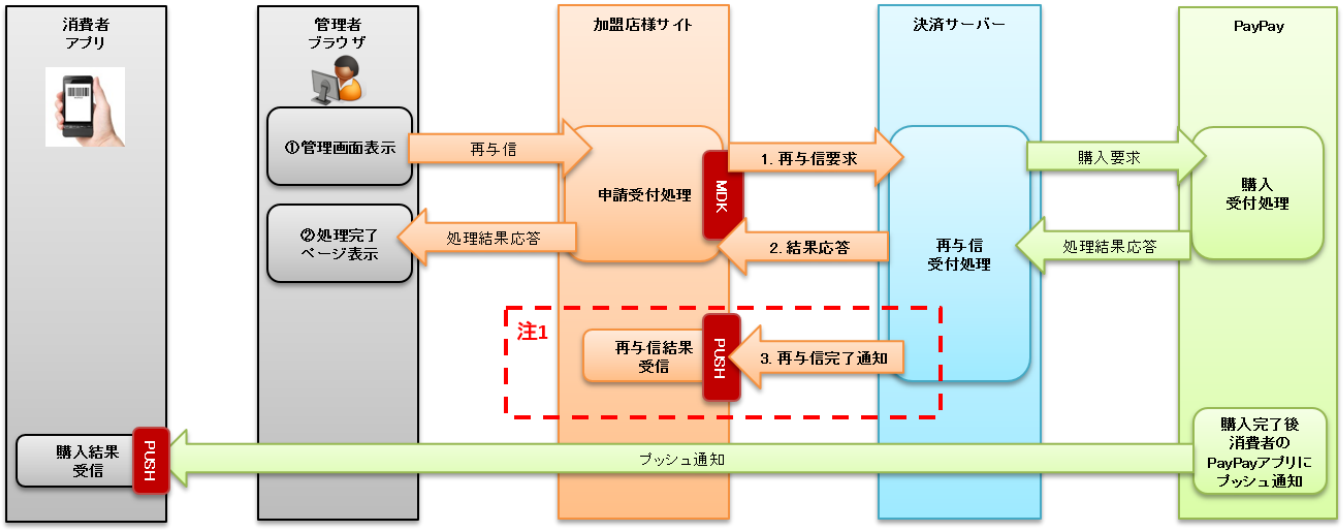


図 3-2-3 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の随時決済申込）

No.	基本機能	処理説明
1	決済申込要求	EC サイト上の決済導入部に渡された決済申込情報を電文化し決済サーバーに送信します。
2	結果応答の受信	決済サーバーから返戻された結果を受信します。結果が決済可能の場合、「3. HTML コンテンツ表示」を実施します。ログインページにリダイレクトを行う JavaScript を含んだ、HTML コンテンツが決済サーバーより返戻された結果に含まれます。
3	リダイレクト指示	決済サーバーから返戻された以下パラメータのどちらかを利用して、消費者ブラウザを画面遷移させます。 ・authStartUrl（認証開始 URL） ・responseContents（自動遷移用の JavaScript を含む HTML コンテンツ）
4	決済申込完了通知(PUSH)	この通知は、決済申込により随時決済承諾処理が成功した場合のみ通知されます。 リクエスト時に指定した PUSH 通知先 URL（未指定の場合は、MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値）に、決済サーバーより POST で通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。 **完了画面要求は、消費者の端末（PC やスマートフォン）のネットワーク環境の問題や、誤操作（ブラウザやタブを閉じてしまう等）により、正しく行われない可能性がありますので、必ずこの通知を受信してください。** なお、この通知と完了画面要求のリダイレクト結果が加盟店に届く順番は保証されていませ

		ん。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください
5	完了画面要求	消費者ブラウザから結果を受信し、完了画面を送信します。 消費者側の状況により通信断や誤ってブラウザを閉じる、といったケースではこのシーケンスは発生しませんが、4.決済申込完了通知（PUSH）を受信していれば、決済結果を取りこぼすことはありません。

【随時決済 ： 再与信】



注1: 支払い要求実行フラグ=trueの場合、再与信が成功したら結果通知を送信します。

図 3-2-4 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の随時決済再与信要求）

No.	基本機能	処理説明
1	再与信要求	再与信の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより再与信の結果応答を受信し、結果情報を取得します。 支払い要求実行フラグ=false もしくは未指定で再与信を実行し、消費者の残高不足エラーが発生した場合、結果応答の「vResultCode(詳細結果コード)」で「1G02(決済センタから残高が不足しているエラーコードが返却されました。)」を返戻します。
3	再与信完了通知(PUSH)	この通知は、支払い要求実行フラグ=true を指定した再与信により決済処理が成功した場合のみ通知されます。 リクエスト時に指定したPUSH通知先URL（未指定の場合は、決済申込時に指定した値、またはMAP（Merchant Administration Portal）により設定した値）に、決済サーバーよりPOSTで通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。

【随時決済 ： 再与信(残高不足エラー時に消費者に支払い要求を送信)】

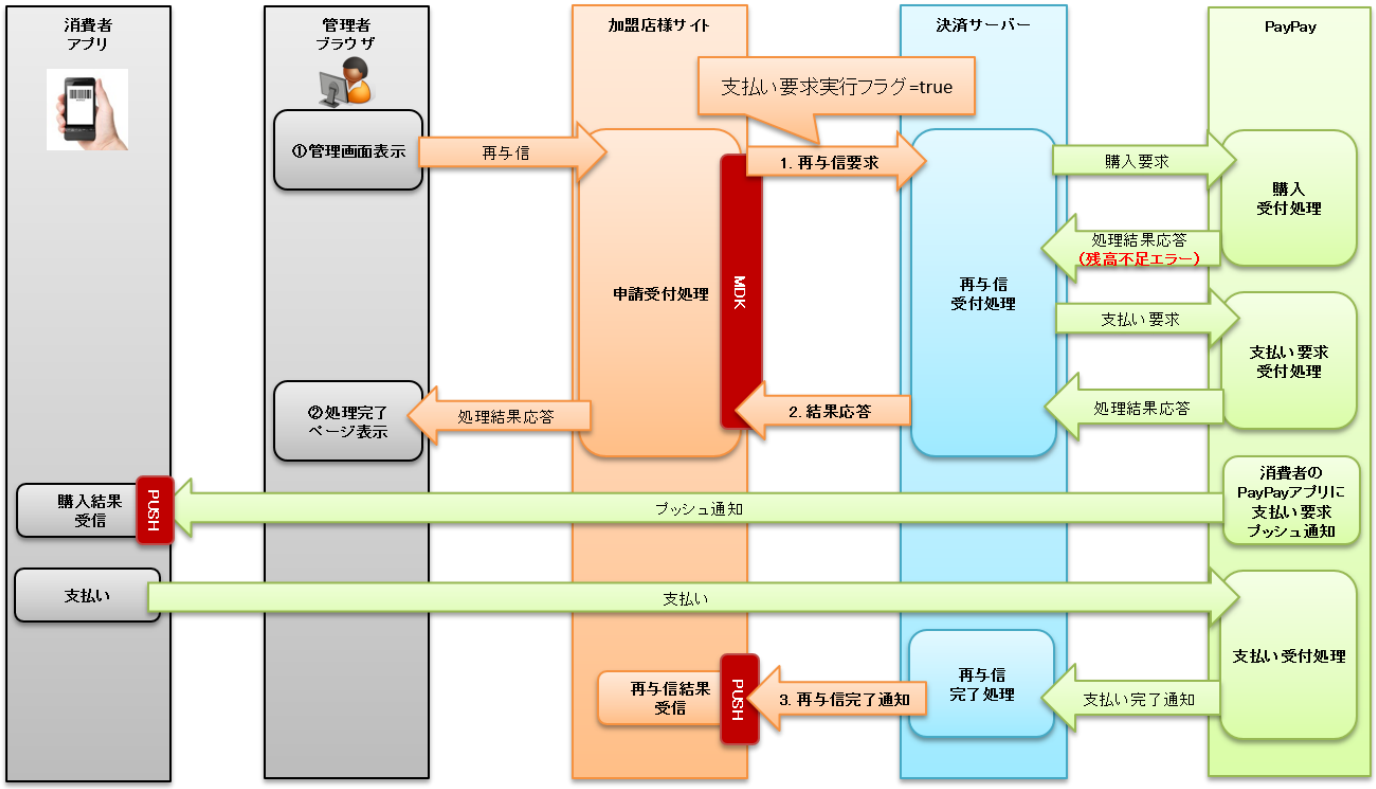


図 3-2-5 MDK 利用時システム処理概要図 (PayPay (オンライン決済) の随時決済再与信要求)

No.	基本機能	処理説明
1	再与信要求	再与信の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより再与信の結果応答を受信し、結果情報を取得します。 支払い要求実行フラグ=true を指定し消費者の残高不足エラーが発生した場合、結果応答の「vResultCode(詳細結果コード)」で「1G21(消費者に支払い要求中です。)」を返戻します。
3	再与信完了通知(PUSH)	この通知は、支払い要求実行フラグ=true を指定し消費者の残高不足エラーが発生し、支払い要求実行後消費者が支払いを行って決済処理が成功した場合のみ通知されます。 リクエスト時に指定した PUSH 通知先 URL(未指定の場合は、決済申込時に指定した値、または MAP(Merchant Administration Portal)により設定した値)に、決済サーバーより POST で通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。

【都度決済 ： 与信取消処理】

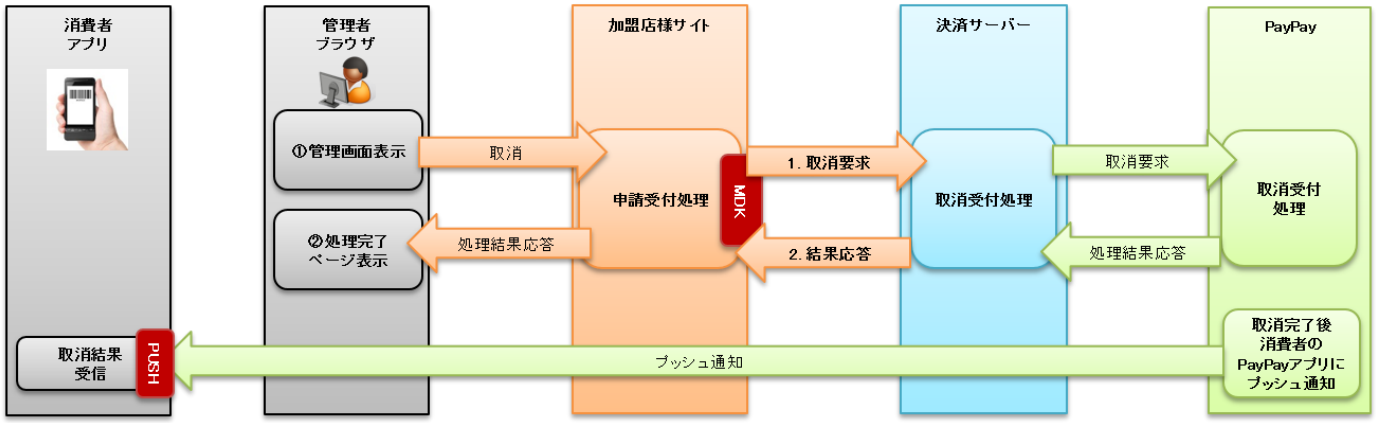


図 3-2-6 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の都度決済取消要求）

No.	基本機能	処理説明
1	取消要求	与信取消の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより取消の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【随時決済 ： 支払い要求取消処理】

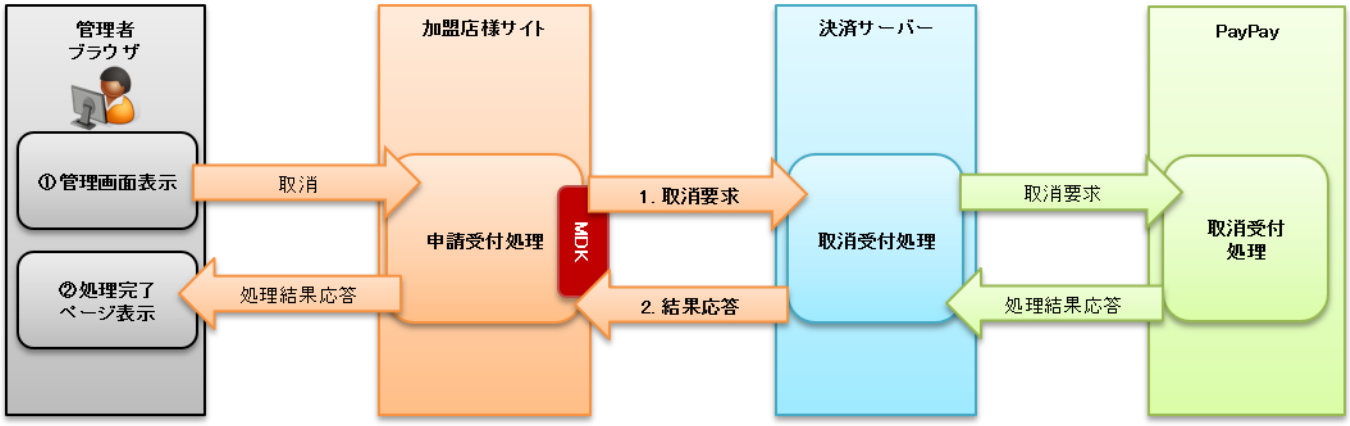


図 3-2-7 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の随時決済取消要求）

No.	基本機能	処理説明
1	取消要求	支払い要求取消の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより取消の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【都度決済 ： 売上処理】

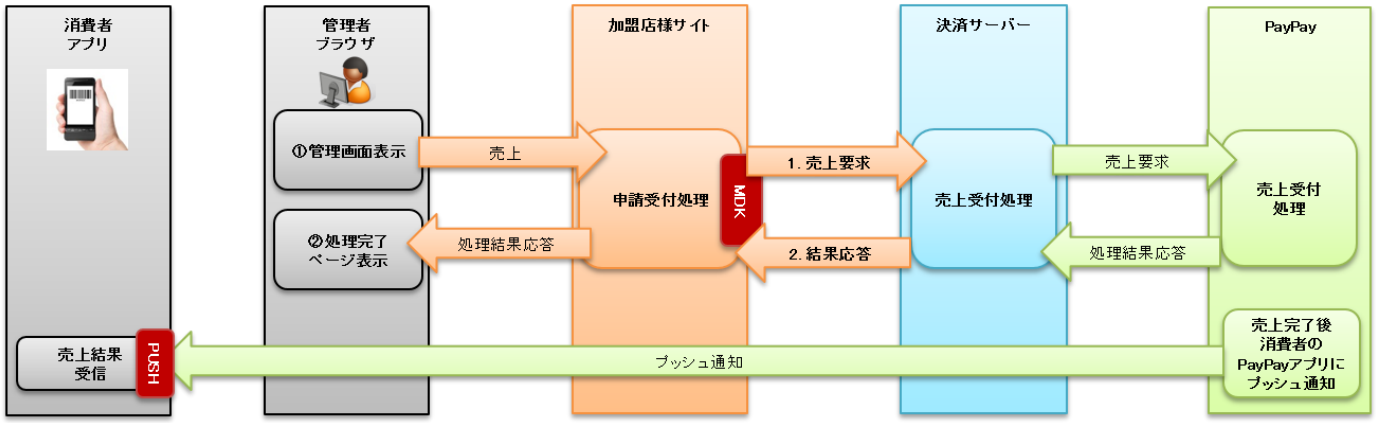


図 3-2-8 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の都度決済売上要求）

No.	基本機能	処理説明
1	売上要求	売上の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより売上の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【都度決済／随時決済 ： 返金処理】

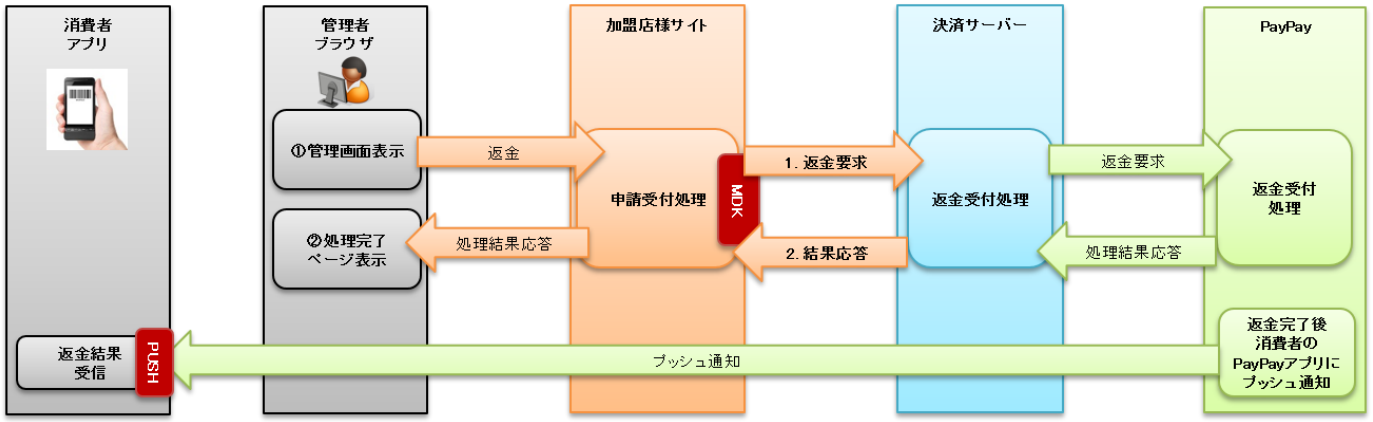


図 3-2-9 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の返金要求）

No.	基本機能	処理説明
1	返金要求	返金の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより返金の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【随時決済 ： 消費者を介する解約（3 者間）】

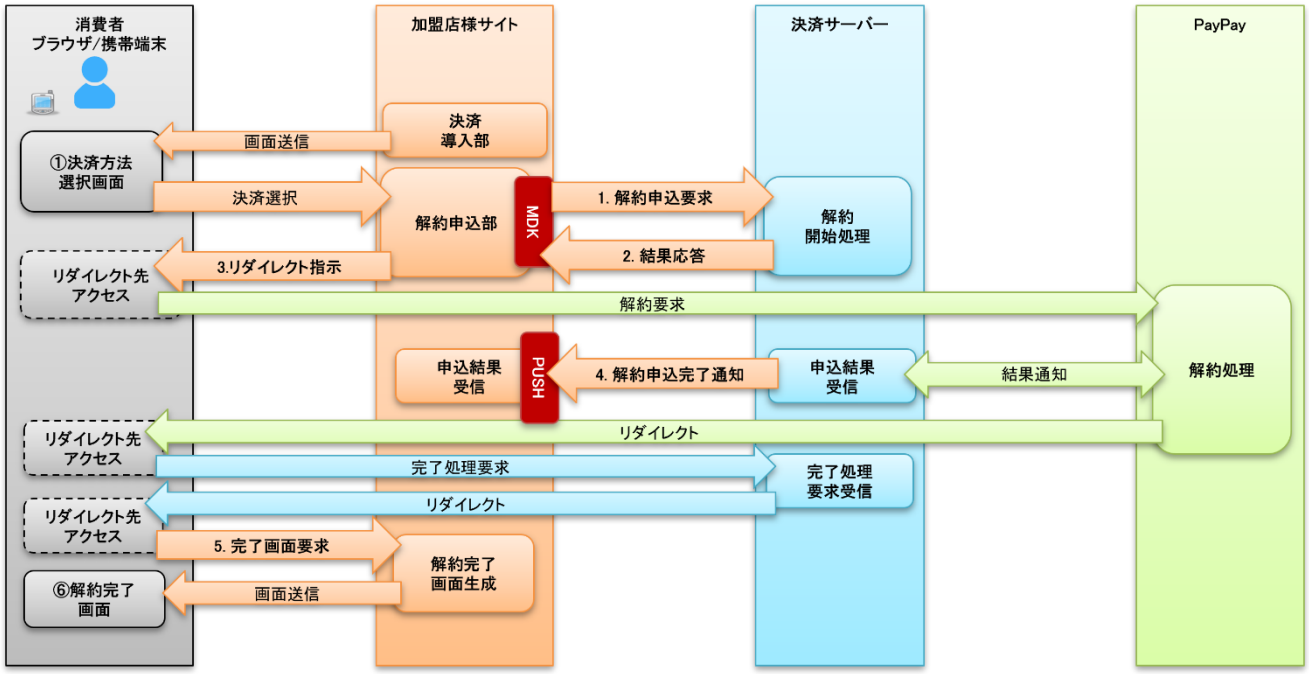


図 3-2-10 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の随時決済解約申込）

No.	基本機能	処理説明
1	解約申込要求	EC サイト上の決済導入部に渡された解約申込情報を電文化し決済サーバーに送信します。
2	結果応答の受信	決済サーバーから返戻された結果を受信します。結果が解約可能の場合、「3. HTML コンテンツ表示」を実施します。PayPay ページにリダイレクトを行う JavaScript を含んだ、HTML コンテンツが決済サーバーより返戻された結果に含まれます。
3	リダイレクト指示	決済サーバーから返戻された以下パラメータのどちらかを利用して、消費者ブラウザを画面遷移させます。 ・authStartUrl（認証開始 URL） ・responseContents（自動遷移用の JavaScript を含む HTML コンテンツ）
4	解約申込完了通知(PUSH)	この通知は、解約申込により随時決済解約処理が成功した場合のみ通知されます。 リクエスト時に指定した PUSH 通知先 URL（未指定の場合は、決済申込時に指定した値、または MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値）に、決済サーバーより POST で通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。 **完了画面要求は、消費者の端末（PC やスマートフォン）のネットワーク環境の問題や、誤操作（ブラウザやタブを閉じてしまう等）により、正しく行われない可能性がありますので、必ずこの通知を受信してください。** なお、この通知と完了画面要求のリダイレクト結果が加盟店に届く順番は保証されていません。どちらが先に届いても問題とならないようにご対応ください
5	完了画面要求	消費者ブラウザから結果を受信し、完了画面を送信します。 消費者側の状況により通信断や誤ってブラウザを閉じる、といったケースではこのシーケンスは発生しませんが、4.解約申込完了通知（PUSH）を受信していれば、決済結果を取りこぼすことはありません。

【随時決済 ： 加盟店による強制解約(2 者間)】

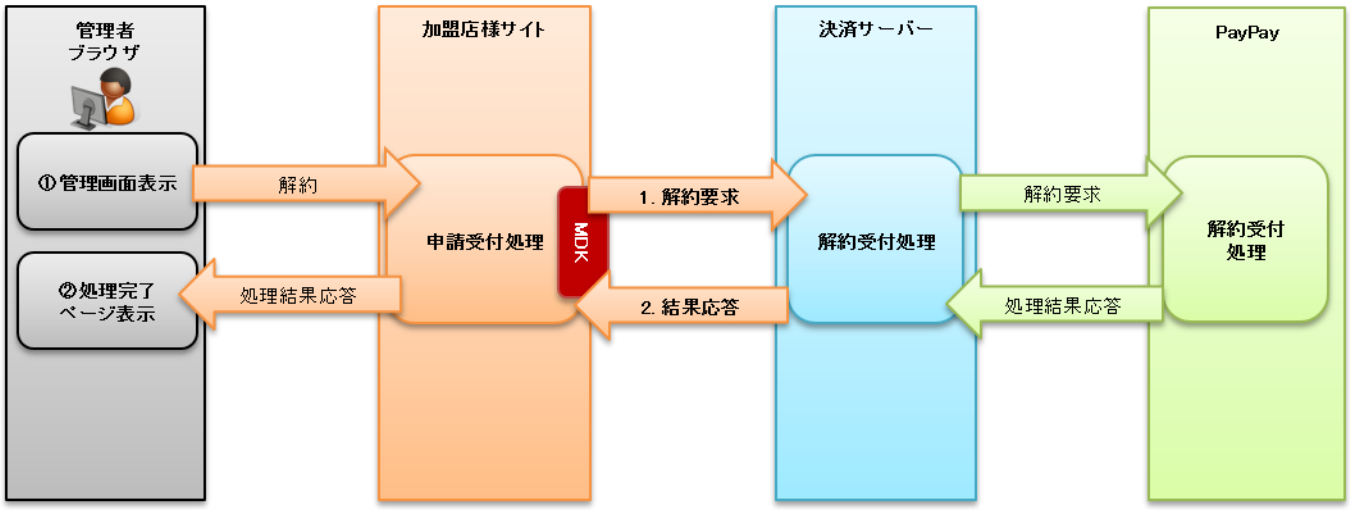


図 3-2-11 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の随時決済解約要求）

No.	基本機能	処理説明
1	解約要求	解約の対象となる取引情報を電文化し、決済サーバーに送信します。
2	結果応答	決済サーバーより解約の結果応答を受信し、結果情報を取得します。

【随時決済 ： 抹消通知】

※抹消通知は消費者の PayPay アプリでの操作によって発生する処理シーケンスとなります。

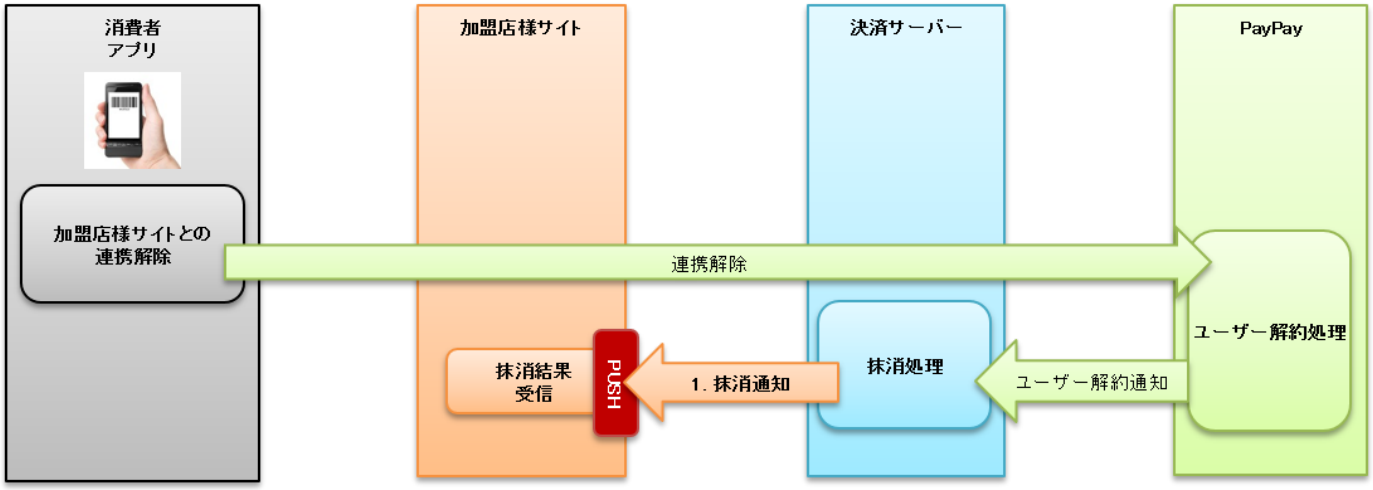


図 3-2-12 MDK 利用時システム処理概要図（PayPay（オンライン決済）の随時決済抹消通知）

No.	基本機能	処理説明
1	抹消通知(PUSH)	この通知は、消費者が PayPay アプリから随時決済を申し込んでいる加盟店様サイトとの連携を解除した場合に通知されます。 決済申込時に指定した PUSH 通知先 URL(未指定の場合は、MAP(Merchant Administration Portal)により設定した値)に、決済サーバーより POST で通知されますので、決済結果を受け取り、注文データ等に反映します。

第4章 結果通知受信処理

4-1 結果通知受信処理の対象

PayPay（オンライン決済）の結果通知受信処理の対象は以下の機能です。

決済サービス名	課金種別	決済申込	返金	取消	売上	再与信	解約	抹消
PayPay （オンライン決済）	都度	○	―	―	―	×	×	×
	随時	○	―	―	×	△	△	○

表 4-1-1 通知対象一覧

※ 再与信は要求電文で nsfRecoveryFlag=true を指定した場合のみ送信対象となります。
解約は消費者を介する解約（3 者間）を行った場合のみ送信されます。

通信電文仕様（共通部）および店舗受信後応答仕様は、『VeriTrans4G 開発ガイド（MDK モジュール方式）』をご参照ください。
PayPay（オンライン決済）固有の通知電文インターフェイスにつきましては、「5-3 結果通知電文」の「5.3.2 結果通知のタイミング」をご参照ください。

第5章　インターフェイス詳細

ここでは PayPay（オンライン決済）サービスで利用する MDK インターフェイス項目を説明します。

■「設定」欄の内容は以下の通りです。

要求電文 … 必須項目：〇　任意項目：△　設定不可：×　その他条件付：※、※n（条件は説明欄、または欄外に記入）

応答電文 … 必ず返戻：〇　処理成功時のみ返戻：△　返戻なし：×　その他条件付：※

■orderId（取引 ID）について

店舗で任意に採番してください。申込処理毎に付ける必要があります。他の取引 ID と重複しないよう採番してください。他決済サービスとも重複できません。

また、テスト取引で使用した取引 ID を、本番取引で再度使用することはできません。

取引 ID には、半角英数字以外に"-"（ハイフン）、"_"（アンダースコア）も使用可能です。

■応答電文について

応答電文には、本書に記載されていないフィールド（パラメータ）も存在しますが、通常は、記載されているフィールド以外は加盟店様の方で意識する必要はございません。

5-1 PayPay（オンライン決済）

5.1.1 申込

要求電文 ： PaypayAuthorizeRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定	
				都度	随時
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	店舗側で採番した取引 ID を指定	〇	〇
serviceOptionType	サービスオプションタイプ	半角英数字	利用する決済方法のタイプを指定 "online" ：オンライン決済	〇	〇
accountingType	課金種別	右記参照	利用する決済方法の課金種別を指定 "0"：都度決済（デフォルト値） "1"：随時決済 ※未指定の場合は、'"0"：都度決済となります。	△	〇
amount	決済金額	半角数字 7 桁以内	決済金額を指定 - 1～9999999 の間で指定できます。	〇	×
itemName	商品名	文字列 40 バイト以内	商品名を指定 文字列のサイズは、全角 1 文字を 2 バイトとみなした数値です。40 バイトの場合は全角文字 20 桁となります。 ※詳細は「6-2　PayPay（オンライン決済）　文字制限に関する補足」を参照して下さい。 **※現在の仕様では商品名は PayPay の画面には表示されません。加盟店様が弊社の管理画面（MAP）で確認する用途のみに利用されるものですので、省略は可能です。**	△	△

要求電文 ： PaypayAuthorizeRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定	
				都度	随時
itemId	商品 ID	半角英数字 32 桁以内	店舗側で商品やサービスを特定する ID を指定。 ※詳細は「6-2 PayPay(オンライン決済) 文字制限に関する補足」を参照して下さい。 **※現在の仕様では商品 ID は PayPay の画面には表示されませんが、接続先事業者(SBPS)の仕様上必須とされておりますので、任意の値を指定してください。**	○	○
successUrl	決済完了時 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	決済成功時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面(MAP)で設定した値を使用	△	△
cancelUrl	決済キャンセル時 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	決済キャンセル時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面(MAP)で設定した値を使用 ※現在の PayPay の仕様では、PayPay アプリが起動されてからキャンセルを行う導線がないため、本パラメータに遷移(使用)されることはありません。	△	△
errorUrl	決済エラー時 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	決済エラー時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面(MAP)で設定した値を使用	△	△
pushUrl	プッシュ先 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	結果通知のプッシュ URL を指定(クエリパラメータ指定可) ※未指定の場合は、管理画面(MAP)で設定した値を使用	△	△
transitionType	遷移種別	右記参照	スマートフォンアプリからPayPayを利用する場合は以下の値を指定してください。 "1":アプリから遷移(WebLink) ※詳細は「6.6.2 加盟店アプリ利用時の遷移種別(transitionType)の指定について」を参照して下さい。	△	×
extendParameterType	拡張パラメータフラグ	右記参照	結果通知と消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータの設定タイプを指定 "0":デフォルトタイプの設定(デフォルト値) "1":拡張タイプの設定 ※拡張タイプの場合、今後パラメータが追加される可能性があります。 ※未指定の場合は、管理画面(MAP)で設定した値を使用。管理画面での設定値がない場合は、"0":デフォルトタイプの設定となります。	△	△

応答電文 ： PaypayAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"：異常終了	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
responseContents	レスポンスコンテンツ	文字列	店舗側で消費者に対して返戻する HTML コンテンツ。 本パラメータを利用して、消費者の端末から PayPay の提供する画面への遷移を制御して頂く必要があります。 自動で PayPay の画面に遷移するための JavaScript を含みます。本パラメータが返戻された場合は、そのまま の内容を Shift-JIS で消費者のブラウザに返戻します。 **（重要）** **Shift-JIS 以外の文字コードで返戻した場合、エラーとなり決済に進めませんので、必ず Shift-JIS で返戻して下さい。**	△
authStartUrl	認証開始 URL	文字列	消費者ブラウザをこの URL に遷移させると PayPay の提供する画面を表示します。 HTTP レスポンスヘッダ（Location ヘッダ）にこの URL を設定し、HTTP ステータスコード=302 を使ってリダイレクトさせるか、JavaScript で遷移させてください。 ※既に処理済みの場合はエラーとなります。 ※レスポンスコンテンツか認証開始URLのいずれかを利用して消費者画面の遷移を実現してください。	△

5.1.2 再与信

要求電文 ： PaypayReAuthorizeRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	上記「orderId（取引 ID）について」参照	○
serviceOptionType	サービスオプションタイプ	半角英数字	利用する決済方法のタイプを指定 "online" ：オンライン決済	○
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の申込で指定した取引 ID を指定します。	○
amount	決済金額	半角数字 7 桁以内	決済金額を指定	○
itemName	商品名	文字列 40 バイト以内	商品名を指定 文字列のサイズは、全角 1 文字を 2 バイトとみなした数値です。40 バイトの場合は全角文字 20 桁となります。 ※詳細は「6-2　PayPay（オンライン決済）　文字制限に関する補足」を参照して下さい。 ※未指定の場合は、申込時に入力した値を使用します。申込時に未指定の場合は、設定しません。 **※現在の仕様では商品名は PayPay の画面には表示されません。加盟店様が弊社の管理画面（MAP）で確認する用途のみに利用されるものです。**	△
itemId	商品 ID	半角英数字 32 桁以内	店舗側で商品やサービスを特定する ID を指定。 ※詳細は「6-2　PayPay（オンライン決済）　文字制限に関する補足」を参照して下さい。 ※未指定の場合は、申込時に入力した値を使用します。 **※現在の仕様では商品 ID は PayPay の画面には表示されません。**	△
nsfRecoveryFlag	支払い要求実行フラグ	右記参照	再与信処理が消費者の残高不足が原因で失敗した場合に、消費者アプリに支払い要求を送信するかどうかを指定します。 "true"：支払い要求を送信する "false"：支払い要求を送信せず、売上処理失敗とする ※未指定の場合は、"false"を設定します。	△
nsfRecoveryExpiredDatetime	支払い有効期限	半角英数字 14 桁	再与信処理が消費者の残高不足が原因で失敗し消費者アプリに支払い要求を送信した場合の支払い有効期限を指定します。（YYYYMMDDhhmmss 形式） リクエスト日時の 10 分後～48 時間後の範囲で指定可能です。 ※nsfRecoveryFlag="true"の場合に指定可能なパラメータです。 ※nsfRecoveryFlag="true"で未指定の場合は、リクエスト日時の 6 時間後を設定します。	△
pushUrl	プッシュ先 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	結果通知のプッシュ URL を指定（クエリパラメータ指定可） ※未指定の場合は、管理画面（MAP）で設定した値を使用	△

応答電文 ： PaypayReAuthorizeResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"：異常終了 "pending"：保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
paypayOrderId	決済センターとの取引 ID	半角英数字記号 14 桁以内	PayPay 側で発番された取引 ID 現在は半角数字のみ設定されますが、SBPS の仕様上、半角英数字記号が入る可能性がございます。 念のため、「*、-、_ 、@、.(ピリオド)、半角スペース」を受け取ってもエラーにならないようにしてください。 ※ダミーの場合は、記号が含まれます。	△
paypayPaidDatetime	決済センターの決済日時	半角数字 14 桁	決済センター側で決済された日時 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△
originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の申込で指定した取引 ID が返戻されます。	△
拡張パラメータ 申込時に指定した extendParameterType の値が"1"の場合、 または管理画面（MAP）で設定した「拡張パラメータ連携」の値が"する"の場合に連携される項目です。				
centerOrderId	決済センターの管理番号	半角英数字記号 64 桁以内	決済センター側で発番された管理番号	△

5.1.3 取消

要求電文 ： PaypayCancelRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	上記「orderId（取引 ID）について」参照 ※随時決済取引の場合は再与信を行った取引 ID を指定します。	○
serviceOptionType	サービスオプションタイプ	半角英数字	利用する決済方法のタイプを指定 "online" ：オンライン決済	○

応答電文 ： PaypayCancelResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"：異常終了 "pending"：保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
paypayCancelledDatetime	決済センターの取消日時	半角数字 14 桁	決済センター側で取消された日時 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△

5.1.4 売上

要求電文 ： PaypayCaptureRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	上記「orderId（取引 ID）について」参照	○
serviceOptionType	サービスオプションタイプ	半角英数字	利用する決済方法のタイプを指定 "online" ：オンライン決済	○
amount	売上金額	半角数字 7 桁以内	売上金額を指定 ※未指定の場合は、与信金額の全額売上となります。	△
orderDescription	注文の説明	文字列 255 バイト以内	ユーザの明細に表示される注文の説明を指定します。 説明は与信金額未満を指定した部分売上の場合のみユーザの明細に表示されます。 全額売上の場合は指定しても説明自体が表示されません。 ※詳細は「6-2 PayPay（オンライン決済） 文字制限に関する補足」を参照して下さい。	△

応答電文 ： PaypayCaptureResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"：異常終了 "pending"：保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
balance	残高	半角数字 7 桁以内	現在の決済金額が返戻されます。	△
paypayCapturedDatetime	決済センターの売上日時	半角数字 14 桁	決済センター側で売上された日時 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△

5.1.5 返金

要求電文 ： PaypayRefundRequestDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	上記「orderId（取引 ID）について」参照 ※随時決済取引の場合は再与信を行った取引 ID を指定します。	○
serviceOptionType	サービスオプションタイプ	半角英数字	利用する決済方法のタイプを指定 "online" ：オンライン決済	○
amount	返金金額	半角数字 7 桁以内	返金金額を指定 ※未指定の場合は、返金処理実行時点の売上額の全額返金となります。	△

応答電文 ： PaypayRefundResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"：異常終了 "pending"：保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID	○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。	○
balance	残高	半角数字 7 桁以内	現在の決済金額が返戻されます。	△
paypayRefundedDatetime	決済センターの返金日時	半角数字 14 桁	決済センター側で返金された日時 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	△

5.1.6 解約

要求電文 ： PaypayTerminateRequestDto					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明		設定
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	上記「orderId（取引 ID）について」参照		○
serviceOptionType	サービスオプションタイプ	半角英数字	利用する決済方法のタイプを指定 "online" ：オンライン決済		○
force	強制解約	英字（boolean）	"true" ：加盟店による強制解約(2 者間) "false" ：消費者を介する解約（3 者間） ※未指定の場合は、"false"：消費者を介する解約（3 者間）となります。		△
successUrl	解約完了時 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	2 者間	**指定できません。**	※
			3 者間	解約成功時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定（クエリパラメータ指定可） ※未指定の場合は、申込時に入力した値、または MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値を使用	
cancelUrl	解約キャンセル時 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	2 者間	**指定できません。**	※
			3 者間	解約キャンセル時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定（クエリパラメータ指定可） ※未指定の場合は、申込時に入力した値、または MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値を使用 ※現在の PayPay の仕様では、PayPay アプリが起動されてからキャンセルを行う導線がないため、本パラメータに遷移（使用）されることはありません。	
errorUrl	解約エラー時 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	2 者間	**指定できません。**	※
			3 者間	解約エラー時に、店舗側サイトに画面遷移を戻すための URL を指定（クエリパラメータ指定可） ※未指定の場合は、申込時に入力した値、または MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値を使用	
pushUrl	プッシュ先 URL	URL に使用可能な半角文字 1024 桁以内	2 者間	**指定できません。**	※
			3 者間	結果通知のプッシュ URL を指定（クエリパラメータ指定可） ※未指定の場合は、申込時に入力した値、または MAP（Merchant Administration Portal）により設定した値を使用	

応答電文 ： PaypayTerminateResponseDto				
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定
serviceType	決済サービスタイプ	半角英数字 10 桁以内	要求電文を送信した決済サービスタイプ	○
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"：正常終了 "failure"：異常終了 "pending"：保留	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコード 4 桁ずつ 4 つのブロックで構成され、各ブロックでサービス毎の結果を表します。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示	○
marchTxn	電文 ID	文字列	決済サーバーにて決済処理電文（内部処理も含む）毎に付与	○

		100 桁以内	する ID 1つの取引 ID に対して、複数の ID が付与されます。		
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID		○
custTxn	取引毎に付く ID	文字列 100 桁以内	決済サーバーがオーダー（取引 ID）と紐付ける為に採番する ID		○
txnVersion	MDK バージョン	半角英数字 5 桁	電文のバージョン 問題発生時などに用いますが、通常ご利用になることはありません。		○
responseContents	レスポンスコンテンツ	文字列	2 者間	**返戻されません。**	※
			3 者間	店舗側で消費者に対して返戻する HTML コンテンツ。 本パラメータを利用して、消費者の端末から PayPay の提供する画面への遷移を制御して頂く必要があります。 自動で PayPay の画面に遷移するための JavaScript を含みます。本パラメータが返戻された場合は、そのままの内容を Shift-JIS で消費者のブラウザに返戻します。	
authStartUrl	認証開始 URL	文字列	2 者間	**返戻されません。**	※
			3 者間	消費者ブラウザをこの URL に遷移させると PayPay の提供する画面を表示します。 HTTP レスポンスヘッダ（Location ヘッダ）にこの URL を設定し、HTTP ステータスコード=302 を使ってリダイレクトさせるか、JavaScript で遷移させてください。 ※既に処理済みの場合はエラーとなります。 ※レスポンスコンテンツか認証開始URLのいずれかを利用して消費者画面の遷移を実現してください。	
paypayTerminatedDatetime	決済センターの解約日時	半角数字 14 桁	2 者間	決済センター側で解約された日時 ※YYYYMMDDhhmmss の形式	※
			3 者間	**返戻されません。**	

5.1.7 消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクトする時のクエリパラメータ

リダイレクト受信内容：決済サーバーから消費者ブラウザ経由で店舗へリダイレクト(GET)される内容					
フィールド名	項目名	書式・制限	説明	設定	
				都度	随時
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	"success"　：正常終了 "failure"：異常終了	○	○
vResultCode	詳細結果コード	半角英数 4 桁	処理の結果を詳細に表すコード 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	○	○
orderId	取引 ID	半角英数字 100 文字以内	決済要求時に店舗様にて任意に採番し送信された取引 ID	○	○
command	トランザクション タイプ(コマンド)	文字列 右記参照	通知対象となるトランザクションのタイプが設定されます。 "Authorize"、"Terminate"	○	○
paypayOrderId	決済センターとの取引 ID	半角英数字記号 14 文字以内	PayPay 側で発番された取引 ID 現在は半角数字のみ設定されますが、SBPS の仕様上、半角英数字記号が入る可能性がございます。 念のため、「*、-、_ 、@、.(ピリオド)、半角スペース」を受け取ってもエラーにならないようにしてください。 ※ダミーの場合は、記号が含まれます。	△	△
vAuthInfo	改ざんチェック用 ハッシュ値	文字列 右記参照	下記文字列を連結し、SHA-256 によって算出したハッシュ値 ・マーチャント CCID ・パラメータ値の連結文字列（authParams が示す順序で連結） ・マーチャント認証鍵 尚、パラメータ値を連結する際は、パラメータ名や区切り文字は含めず、パラメータ値のみを連結しています。連結した文字列をバイナリに変換する際の文字エンコーディングは、UTF-8 を使用しています。	○	○
authParams	ハッシュ値算出 パラメータ順序	文字列 右記参照	vAuthInfo のハッシュ値を算出する元とした文字列の、パラメータの連結順序を示す値 パラメータ名のカンマ区切り文字列を Base64 エンコードしています。デコードを行うと文字列が復元されます。 例） "orderId,vResultCode,mstatus" "mstatus,orderId,vResultCode" （順序は固定ではないため、リクエスト受信のたびに動的に処理する必要があります。）	○	○
拡張パラメータ 申込時に指定した extendParameterType の値が"1"の場合、 または管理画面（MAP）で設定した「拡張パラメータ連携」の値が"する"の場合に連携される項目です。					
centerOrderId	決済センターの 管理番号	半角英数字記号 64 桁以内	決済センター側で発番された管理番号	△	×

（重要）

- これらのパラメータはブラウザを経由して連携されるため、画面遷移が正常に行われないケースでは取得することができません。そのため、決済サーバーから直接送信される「5-3 結果通知電文」の受信と組み合わせて確実に結果を取得するようにしてください。

- vAuthInfo および authParams を利用した改ざんチェックについて

  決済サーバーから消費者ブラウザを経由して店舗側の結果画面に遷移（リダイレクト）しますが、ここで店舗側システムが受け取ったクエリパラメータが改ざんされていないことを検証するためのパラメータが、vAuthInfo と authParams です。

  店舗側システムで算出したハッシュ値が、クエリパラメータより取得した vAuthInfo と一致している場合は、パラメータは改ざんされていない、とみなすことができます。

  この改ざんチェックは、悪意を持った第三者によって、不正なリダイレクト電文を受信する可能性がありますので、実装を強く推奨して

います。

実装方法の詳細につきましては、弊社より提供しているサンプルプログラムをご参照ください。

- 本項における完了画面とは、successUrl（決済完了時 URL）および errorUrl（決済エラー時 URL）で指定された画面のことです。

- cancelUrl（決済キャンセル時 URL）については、現在の PayPay の仕様上、PayPay アプリが起動されてからキャンセルを行う導線がないため、現在使用されることはありません。

5-2 共通

5.2.1 検索

■「設定」欄の内容は以下の通りとなります。

要求電文 … 必須項目：〇　任意項目：△　設定不可：×　その他条件付：※（条件は説明欄に記入）

応答電文 … 必ず返戻：〇　該当取引存在時に返戻：△　返戻なし：×　その他条件付：※

要求電文 ： SearchRequestDto				
検索フィールド名	検索項目名	書式・制限	説明	設定
newerFlag	最新トランザクションフラグ	右記参照	成功、失敗に関係なく、最新トランザクションのみを検索する場合に使用します。 "true"： 1 取引内の最新トランザクションのみ検索 "false"： 全てのトランザクションを検索 ※指定しない場合は"false"になります。	△
containDummyFlag	ダミー決済対象フラグ	右記参照	ダミー取引も検索する場合に使用します。 "true"： ダミー取引も検索する "false"： ダミー取引は検索しない ※指定しない場合は"false"になります。	△
common　共通				
orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	検索したい取引 ID を指定します。 必ず全桁指定してください。	〇

応答電文 ： SearchResponseDto				
※　以下は、共通の検索結果フィールドです。				
検索フィールド名	検索項目名	書式・制限	説明	設定
result	処理結果	―		〇
serviceType	サービスタイプ	右記参照	"search"	〇
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	処理の結果ステータスが格納されます。 "success"：正常終了 "failure"：異常終了	〇
vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 16 文字	処理の結果を詳細に表すコードとなります。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	〇
merrMsg	エラーメッセージ	文字列 1024 バイト以内	処理結果を日本語で表示します。	△
overMaxCountFlag	最大件数超えフラグ	右記参照	"true"： 最大件数以上　"false"： 最大件数未満 現在は最大件数を超えることがないため"false"が返戻されます。	△
searchCount	検索結果件数	0～1000	検索結果件数（オーダー件数）が格納されます。	△
orderInfos	オーダー情報リスト	―	複数のオーダー情報（orderInfo）が格納されます。	△

orderInfo	オーダー情報	ー	検索条件に該当した取引の情報が該当件数分繰り返されます。	△
index	インデックス	0～999	検索された情報のインデックスが格納されます。	△
serviceTypeCd	決済サービスタイプ	右記参照	決済の種類が格納されます。 "PayPay"： paypay	△
orderId	取引 ID	文字列	取引の取引 ID が格納されます。	△
orderStatus	取引決済状態	右記参照	決済の状態が格納されます。 "initial"：初期状態 "end"：終了 "end_presentation"：画面遷移正常終了 "pending"：保留 "validation_error"：検証エラー "expired"：期限切れ "error"：エラー ※このフィールドは、取引 ID に関連する注文データの状態を完全に表現するものではありません。サービスタイプによっては詳細な状態遷移を別のフィールドに保持している場合がありますので、店舗側システムの用途に合わせて successDetailTxnType や、決済固有の状態フィールドをご参照ください。	△
lastSuccessTxnType	最終成功トランザクションタイプ	文字列	直近の成功したコマンド名が格納されます。	△
successDetailTxnType	詳細トランザクションタイプ	文字列	取引の詳細な状態が格納されます。 詳細は 6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態）を参照	△
properOrderInfo	固有オーダー情報	ー	各決済サービスの固有オーダー情報が格納されます。後述の一覧参照。	△
transactionInfos	決済トランザクションリスト	ー	複数の決済トランザクション情報（transactionInfo）が格納されます。	△
transactionInfo	決済トランザクション情報	ー	検索条件に該当した取引の情報が該当件数分繰り返されます。	△
txnId	トランザクション管理 ID	文字列	決済サーバーが採番する管理 ID となります。	△
command	コマンド	文字列	実行されたコマンド名が格納されます。 "Authorize"：申込（与信）/申込（与信＋売上）/申込（承諾） "Refund"：返金 "Cancel"：取消 "Capture"：売上 "ReAuthorize"：再与信 "Terminate"：解約 ※MDK で要求したコマンドだけでなく、決済サーバーの内部処理コマンドも含まれます。	△
mstatus	処理結果コード	半角英数字 32 文字以内	処理の結果ステータスが格納されます。 "success"：正常終了 "failure"：異常終了 "pending"：保留	△
vResultCode	詳細結果コード	文字列 16 桁	処理の結果を詳細に表すコードとなります。 詳細は『結果コード一覧』を参照ください。	△
txnDatetime	取引日時	文字列 23 桁	取引日時が格納されます。 YYYY-MM-DD hh:mi:ss.mmm 形式	△
amount	金額	半角数字 12 桁以内	決済した金額が格納されます。	△

properTransactionInfo	固有トランザクション情報	ー	各決済サービスの固有トランザクション情報が格納されます。後述の一覧参照。	△

☆ 以下の情報は、上記「固有オーダー情報」「固有トランザクション情報」 内の階層にセットされます。

※ 以下は、PayPay（オンライン決済）固有の検索結果フィールドです。

properOrderInfo	PayPay 固有オーダー情報			
paypayServiceType	PayPay サービスタイプ	文字列	決済申込時に指定した PayPay の決済タイプ（serviceOptionType）	△
withCapture	与信同時売上フラグ	文字列	取引の与信同時売上フラグ "0"：与信のみ "1"：与信同時売上	△
authorizeAmount	決済金額	半角数字 7 桁以内	決済申込時に指定した金額	△
balance	残高	半角数字 7 桁以内	残高（現在の決済金額）	△
paypayOrderId	決済センターとの取引 ID	半角英数字記号 14 桁以内	決済センター側で発番した注文番号現在は半角数字のみ設定されますが、SBPS の仕様上、半角英数字記号が入る可能性がございます。 念のため、「*、-、_ 、@、.(ピリオド)、半角スペース」を受け取ってもエラーにならないようにしてください。 ※ダミーの場合は、記号が含まれます。	△
itemId	商品 ID	半角英数字 32 桁	決済申込時に指定した商品 ID	△
authorizeDatetime	決済日時	文字列 14 桁	決済申込日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
refundDatetime	返金日時	文字列 14 桁	返金日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
cancelDatetime	取消日時	文字列 14 桁	与信取消日時 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
captureDatetime	売上日時	文字列 14 桁	売上日時 与信同時売上の取引の場合、決済日時と同じ情報が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
terminateDatetime	解約日時	文字列 14 桁	解約日時 YYYYMMDDhhmmss 形式 ※随時決済で申込をした取引の場合のみ返戻されます。	※
accountingType	課金種別	文字列	決済申込時に指定した課金種別 "0"：都度決済 "1"：随時決済	△
originalOrderId	元取引 ID	文字列	随時決済の申込で指定した取引 ID ※随時決済の場合のみ返戻されます。	※
centerOrderId	決済センターの管理番号	半角英数字記号 64 桁以内	決済センター側で発番された管理番号	△
properTransactionInfo	PayPay（オンライン決済） 固有トランザクション情報			
paypayResultCode	PayPay 返戻コード	文字列	PayPay 側から返却された処理結果が格納されます。	△
detailCommandType	詳細コマンドタイプ	文字列	※「detailCommandType」の詳細は 6-3 検索（Search）に関する補足（詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態）を参照	△

	itemName	商品名	文字列 40 バイト以内	コマンド実行時に指定した商品名	△
	paypayOnlineTxnId	PayPay トランザクション ID	半角英数字 32 桁	PayPay 側から返却された取引 ID が格納されます。	△
	paypayErrorCode	PayPay エラーコード	半角英数字 8 文字	PayPay 側から返却されたエラーコードが格納されます。	△
	paypayRequestDatetime	PayPay への要求日時	文字列 14 文字	PayPay への要求日時が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△
	paypayResponseDatetime	PayPay からの返戻日時	文字列 14 文字	PayPay からの返戻日時が格納されます。 YYYYMMDDhhmmss 形式	△

5-3 結果通知電文

5.3.1 結果通知電文の概要

実装方法の詳細につきましては、弊社より提供しているサンプルプログラムをご参照ください。

■ **機能概要**

決済サーバーから店舗システムへ決済の結果通知を行います。

通知は、HTTP の POST を利用します。

※ プロトコルは HTTP（Port：80）、HTTPS（Port：443）に対応しています。

処理の概要については『開発ガイド』をご参照ください。

■ **HMAC について**

POST にてデータを通知するとき、リクエストヘッダーに HMAC を設定します。

また、HMAC 値は、リクエストボディから算出します。

アルゴリズムは「HmacSHA256」が設定されます。

フィールド名	設定値
content-hmac	h={アルゴリズム名};s={CCID};v={HMAC 値}

■ **結果通知受信処理結果について**

決済サーバーからの通知に対して店舗側システムが HTTP ステータスコード 200 番台を返戻した場合、受信処理が正常に終了したものと判断します。200 番台以外のコードを返した場合は、受信失敗と判断し、一定期間、通知を繰り返します。

※通常は HTTP ステータスコード"200"を返戻してください。

✧ **規定の回数失敗した場合は、通知処理が停止しますのでご注意ください。**

5.3.2 結果通知のタイミング

PayPay（オンライン決済）における結果通知電文の通知タイミングは、下記となります。

No.1、2 は PayPay 側で申込みが成立し、決済サーバーが PayPay からの通知を受信したタイミングとなります。
この時点では、店舗側の完了画面 URL への遷移はまだ行われていません。
消費者が画面遷移の途中で離脱した場合や、通信環境の問題で画面遷移時にタイムアウトが発生した場合には、最終遷移先の完了画面 URL まで到達しない場合がありますので、このような場合にも、決済サーバーからの通知を店舗側システムで受信して頂くことで、処理が成立したことを検知することができます。

注） No.1, 2 の結果通知を受信しないと、消費者が正常に完了画面 URL に遷移できなかった場合に、決済完了や解約申込完了を店舗側で検知することができませんので、必ず結果通知を受信してください。

No.	通知機能	通知タイミング	注意事項
1	決済申込完了通知 （Authorize）	決済申込が成立（成功）したタイミングで送信されます。	決済申込が失敗した場合は送信されません。
2	解約申込完了通知 （Terminate）	解約申込が成立（成功）したタイミングで送信されます。	解約申込が失敗した場合は送信されません。 消費者を介する解約（3 者間）を行った場合のみ送信されます。
3	抹消通知 （Deregistration）	決済サーバーが PayPay から抹消通知を受信したタイミングで送信します。	
4	再与信完了通知 （ReAuthorize）	再与信が成立（成功）したタイミングで送信されます。	再与信の要求電文で nsfRecoveryFlag=true を指定した場合のみ送信対象となります。 再与信が失敗した場合や、消費者への支払い要求後に消費者が支払いを完了しなかった場合は送信されません。

表 5.3.2.1 PayPay の結果通知機能

5.3.3 結果通知項目

以下に、PayPay（オンライン決済）の結果通知項目を示します。

項番	フィールド名	項目名	書式・制限	説明
1	numberOfNotify	通知件数	半角数字 4 桁以内	1 度に通知可能な件数は 100 件、 101 件以上は次回通知
2	pushTime	送信時刻	半角数字 14 桁	ゲートウェイから通知した時刻 YYYYMMddHHmmss 形式
3	pushId	識別 ID	半角数字 8 桁	プッシュ処理を行うたびに採番される ID。 注） 他の決済サービスで使用された ID と重複する場合があります。
通知件数分下記の項番（4～14）を繰り返します。なお、フィールド名の後ろに 4 ケタの連番（0000～0099）を付与します。				
4	orderId	取引 ID	半角英数字 100 桁以内	取引 ID
5	txnType	トランザクションタイプ	※右記の説明を参照	"Authorize"：決済申込完了通知 "Terminate"：解約申込完了通知 "Deregistration"：抹消通知 "ReAuthorize"：再与信完了通知
6	txnTime	処理日時	半角数字 14 桁	YYYYMMddHHmmss 形式
7	vResultCode	詳細結果コード	半角英数字 4 桁	処理結果コードの詳細は、 『結果コード一覧』をご参照ください。
8	mstatus	処理ステータス	半角英数字 8 桁以内	"success "：正常終了 （failure の場合は通知されません。）
9	paypayOrderId	決済センターとの取引 ID	半角英数字記号 14 桁以内	PayPay 側から返却された取引 ID。 現在は半角数字のみ設定されますが、SBPS の仕様上、半角英数字記号が入る可能性がございます。 念のため、「*、-、_ 、@、.(ピリオド)、半角スペース」を受け取ってもエラーにならないようにしてください。 ※ダミーの場合は、記号が含まれます。
10	dummy	ダミー決済フラグ	半角数字 1 桁	ダミー取引を示す場合は"1"を設定します。
以下は、随時決済利用時の場合に連携される項目です。				
11	accountingType	課金種別	半角数字 1 桁	決済申込時に指定した課金種別
12	originalOrderId	元取引 ID	半角英数字 100 桁以内	随時決済の申込で指定した取引 ID ※決済申込完了通知（Authorize）、解約申込完了通知（Terminate）、抹消通知（Deregistration）では「orderId(取引 ID)」と同じ値を設定します。
拡張パラメータ 以下は、申込時に指定した extendParameterType の値が"1"の場合、 または管理画面（MAP）で設定した「拡張パラメータ連携」の値が"する"の場合に連携される項目です。 ※都度決済利用時の決済申込完了通知 （Authorize）、随時決済利用時の再与信完了通知 （ReAuthorize） の場合に連携される項目です。				
13	centerOrderId	決済センターの管理番号	半角英数字記号 64 桁以内	決済センター側で発番された管理番号

（注意事項）

- ✧ pushId（識別 ID）は、他の決済サービスで使用された Id と重複する場合がありますので、ユニークキーとして処理しないようにしてください。
- ✧ 項目の並び順は、必ずしも表の順序とは一致しません。

第6章 その他 補足事項

6-1 PayPay（オンライン決済）の注意事項

6.1.1 決済金額について

お支払い方法によって上限金額が設定されています。詳しくは PayPay のサイトをご参照ください。

《PayPay よくあるご質問》

https://paypay.ne.jp/help/c0043/

6.1.2 売上方式について （都度決済）

申込時の売上処理が「与信後売上方式」となるか「与信売上方式」となるかは、

加盟店様の決済事業者との契約内容によってあらかじめ決定します。

※いずれかの方式となり併用はできません。

※売上方式を後から変更した場合、変更前に行われた決済の後続処理（売上／取消／返金）は行うことができなくなりますので、別の手段での請求や返金を行ってください。

加盟店様の売上方式は MAP（Merchant Administration Portal）で確認することができます。

ダッシュボード ＞ サービス利用情報 ＞ PayPay ＞ ご利用の決済処理方式

・与信後売上方式（Authorize）

・与信売上方式（Authorize with Capture）

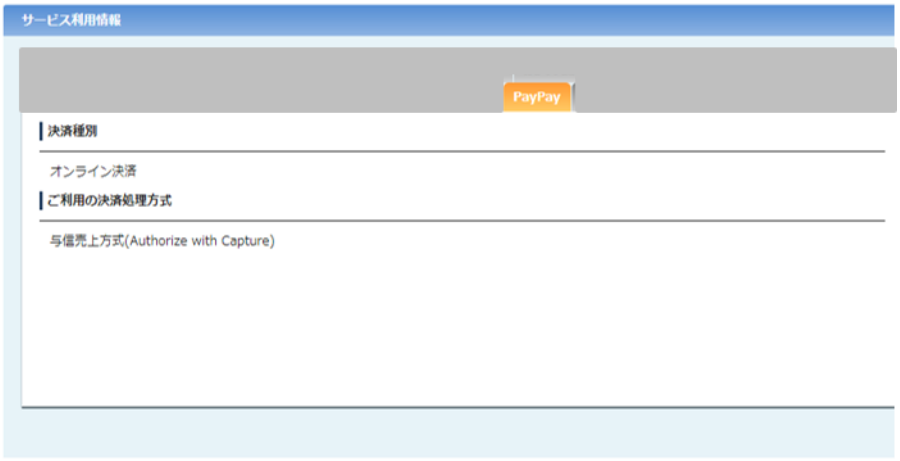


図 6-1-1 サービス利用情報 （与信売上方式）

※共用のテストアカウントをご利用される場合は、売上方式によってテストアカウントを使い分けてください。

・与信後売上方式（Authorize）

⇒マーチャント ID：**A100000000000001069713** をご利用ください。

・与信売上方式（Authorize with Capture）

⇒マーチャント ID：**A100000000000001069951** をご利用ください。

以下、**与信後売上方式での設定および注意事項**を記します。

■ 与信有効期限について

取引の与信有効期限は「**決済申込時点から指定の与信有効期限日数後の同時刻まで**」です。

決済申込時点の取引は与信のみを取得した状態です。

売上処理は与信取得後から与信有効期限を超過するまでに行ってください。

加盟店様にて与信有効期限日数を設定する方法を以下に示します。

設定変更は MAP（Merchant Administration Portal）の各種設定変更画面から行うことができます。

① 与信有効期限日数を指定する

「与信有効期限日数」欄に 1～30 日で任意の日数を設定してください。

<注意事項>

決済事業者のデフォルトの有効期限上限日数は 30 日ですが、

事業者との調整で上限日数を 30 日より短くしている場合にそれを超える値を設定すると申込処理でエラーが発生します。

例） 加盟店様の上限日数が 20 日に設定されている場合に MAP で 30 日を設定して申込する。

② PayPay に直接申し込んだ有効期限日数を使用する

MAP で設定可能な有効期限日数の上限は 30 日です。

この上限値制約を超える日数を適用したい場合には決済事業者に申し込みし上限値を調整いただく必要がございます。

申し込み等詳細につきましては弊社までご連絡ください。

申し込んだ値を使用する場合、

「PayPay に申し込んだ値を適用する」のチェックボックスにチェックを入れて設定を保存してください。

各種設定変更 ＞ 各種決済設定変更 ＞ PayPay ＞ 与信有効期限日数

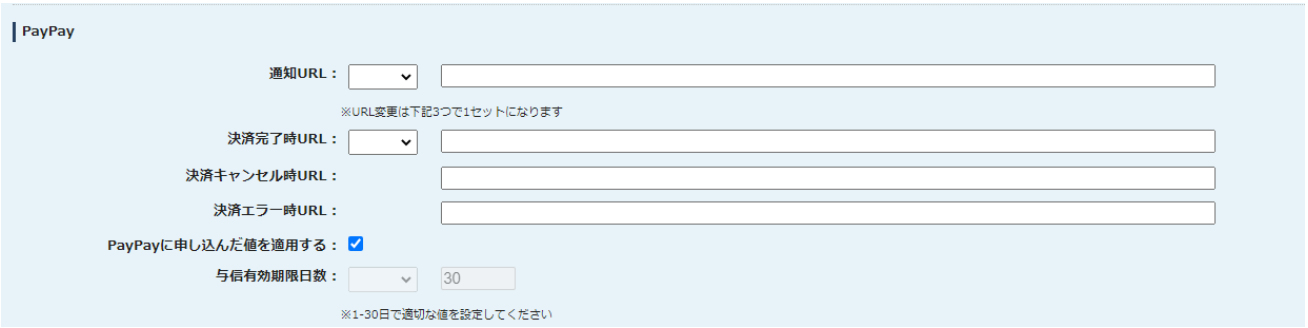


図 6-1-2 各種設定変更（PayPay）

■ 取消について

・取消結果が消費者に反映されるタイミングについて

取消結果は、残高へ即時に反映されます。

■ 売上について

・部分売上

部分売上については、与信金額を超えない範囲で売上金額を指定できます。

6.1.3 返金について

与信売上方式では申込後、与信後売上方式では売上後の取引について返金を行うことができます。

■ 返金結果が消費者に反映されるタイミングについて

返金結果は、残高へ即時に反映されます。

■ 部分返金

部分返金については、決済金額を超えない範囲で、返金金額を指定できます。

6.1.4 処理要求可能期間について

PayPay（オンライン決済）サービスにおける各処理の要求可能期間を下表に示します。

<table>
<tr><th rowspan="2">要求種類</th><th colspan="2">要求可能期間</th></tr>
<tr><th>都度決済</th><th>随時決済</th></tr>
<tr><td>売上</td><td rowspan="2">与信有効期限まで ※1</td><td>－</td></tr>
<tr><td>取消</td><td>再与信で残高不足による消費者への支払い要求送信後、
支払い有効期限まで</td></tr>
<tr><td>返金</td><td>決済日翌日を 1 日目として、365 日</td><td>再与信完了翌日を 1 日目として、365 日</td></tr>
<tr><td>再与信</td><td rowspan="2">－</td><td rowspan="2">随時決済申込日もしくは最終の再与信日から 365 日</td></tr>
<tr><td>解約</td></tr>
</table>

表 6-1-1 処理要求可能期間

※1：詳細は「与信有効期限について」をご参照ください。

6.1.5 消費者における支払い／申込時間制限

消費者が加盟店様サイトから PayPay サイトへ画面遷移してから手続き完了するまでには時間制限があります。

時間制限を超えた場合、消費者による申込処理（都度決済の場合は支払い、随時決済の場合は利用承諾申込）が完了できません。

このような場合には申込処理を最初からやり直していただくようごご案内ください。

決済種別	制限時間
都度決済	5 分
随時決済	15 分

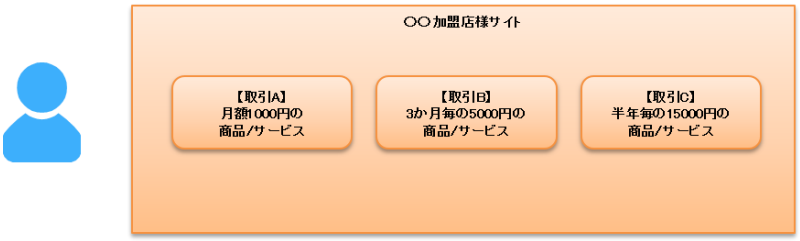
6.1.6 随時決済の解約単位について

随時決済取引の解約は**加盟店単位**となります。

決済サーバーの仕様上、申込取引に対して個別の解約処理となっておりますが、

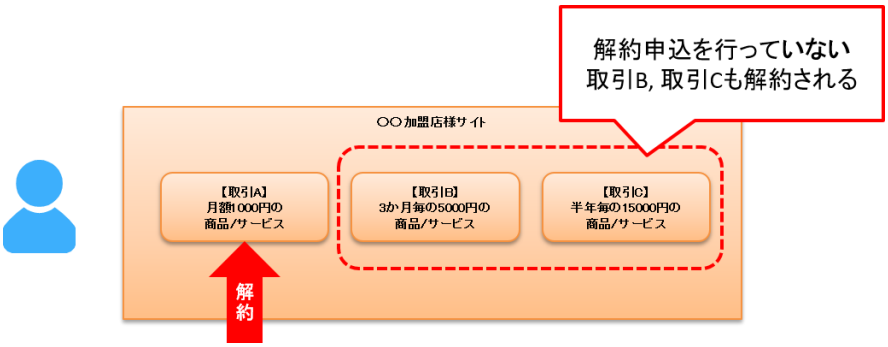
解約単位は加盟店単位となる為、解約要求を行った取引に紐づく消費者が利用しているすべての取引が解約されます。

例えば、ある消費者が〇〇加盟店で随時決済取引 A, B, C を申し込んでいます。



そのうちの【取引 A】に対して解約処理を行った場合を以下に示します。

※消費者を介する解約（3 者間）もしくは加盟店による強制解約(2 者間)のいずれでも同様となります。



解約処理後の各取引の承諾状態と抹消通知の有無は以下の通りです。

取引	随時決済の承諾状態	抹消通知
取引 A	解約	-
取引 B	承諾	なし
取引 C	承諾	なし

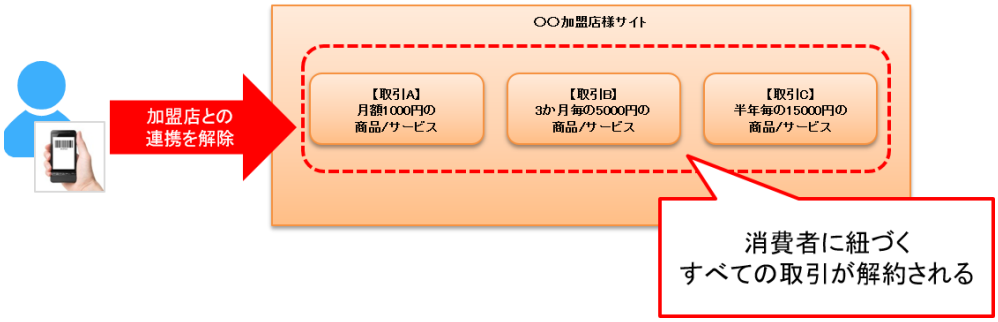
表 6-1-2 解約処理後の取引の状態および抹消通知（取引 A のみ解約）

決済サーバーにおいて解約申込が行われなかった【取引 B】【取引 C】は承諾状態のままとなります。

これらの取引に対して再与信を行おうとすると、結果応答の「vResultCode(詳細結果コード)」で「1G19(既に解約済みの取引のため、処理を中止しました。)」を返戻します。

次に消費者が PayPay アプリから〇〇加盟店との連携を解除した場合を以下に示します。

消費者が PayPay アプリで可能な操作はこの「加盟店との連携解除」のみで、個別の申込取引に対する解約操作はできません。



加盟店との連携解除後の承諾状態と抹消通知の有無は以下の通りです。

取引	随時決済の承諾状態	抹消通知
取引 A	抹消	あり
取引 B	抹消	あり
取引 C	抹消	あり

表 6-1-3 解約処理後の取引の状態および抹消通知（加盟店との連携解除）

PayPay アプリから加盟店との連携解除が操作されると決済サーバーから抹消通知を送信します。

通知は各取引に対して送信されます。加盟店様サイトでは抹消通知を受信し取引情報を更新してください。

6-2 PayPay（オンライン決済） 文字制限に関する補足

6.2.1 使用可能文字一覧

PayPay（オンライン決済）の下記項目にて、使用可能な文字の範囲を以下に表します。

使用可能文字の範囲外の文字を使用した場合、文字化けが発生し処理エラーとなる可能性があります。

■ 商品名（itemName） / 注文の説明（orderDescription） JIS 基本漢字（JIS X 0208）

区点	内容
01 区	記号 **※以下の文字を除く。** ″—″ダッシュ、″＼″バックスラッシュ、″～″全角波形、″∥″パラレル、″－″全角マイナス、″￠″セント、″￡″ポンド
02 区	記号 **※否定記号¬を除く**
03 区～05 区	数字、平仮名、カタカナ、アルファベット
16 区～47 区	第一水準漢字
48 区～84 区	第二水準漢字

※半角カナは全角カナに置換されます。この置換によって上限を超過した場合、超過分の文字は切り捨てられますので、ご注意ください。

■ 商品 ID（itemId） ASCII 文字列

文字	内容
大文字英字	A～Z
小文字英字	a～z
数字	0～9
記号	″*″アスタリスク ″-″ハイフン ″_″アンダーバー ″@″アットマーク ″ ″半角スペース ″.″ピリオド

6.2.2 機種依存文字

決済サーバーに送信する電文の文字エンコーディングは UTF-8 ですが、PayPay 側のインターフェイスでは Shift-JIS が利用されます。

したがって、一部の Shift-JIS（MS932 含む）などの機種依存文字は利用できません。

利用できない文字を設定した場合は、消費者の画面での文字化けや、PayPay 側での決済処理が失敗する場合がありますので、決済サーバーでは、以下の検証により許可する全角文字列の判定を行っています。

・UTF-8 からShift-JIS に変換後、再度UTF-8 に変換した文字が、元の文字と同一であること。

この判定によって、以下のような文字を含む場合はエラーとなりますので、ご注意ください。

利用できない文字	対処方法
″—″ 全角ダッシュ	利用可能な以下の文字で代用する等をご検討ください。 ″ - ″ 全角ハイフン ″ー″ 全角長音
″－″ 全角マイナス	
″～″ 全角波形	
その他の機種依存文字	利用可能な文字での代用をご検討ください。

6-3 検索(Search)に関する補足(詳細コマンドタイプ/詳細オーダー決済状態)

決済サーバーでは、システム内部データとして詳細コマンド(処理要求の種類)と詳細な決済状態(その取引がどのような状態にあるか)を管理しています。

通常の運用では、店舗様システムではこれらの内部情報を利用する必要はありませんが、店舗様システムにおいて取引の状態検索が必要なケースや、障害等のお問い合わせ時の参照情報として、これらの内部データを Search コマンドで公開しています。

下表に Search コマンドにて利用可能な内部データの一覧を示します。

詳細コマンドタイプ		コマンド成功時の詳細オーダー決済状態	
論理名	値	論理名	値
決済認可	PreAuth	決済申込	Init
与信	Auth	与信	Auth
取消(与信)	VoidAuth	取消(与信)	VoidAuth
売上	PostAuth	売上	PostAuth
返金(売上)(残高あり)	RefundPostAuth	売上	PostAuth
返金(売上)(残高なし)	VoidPostAuth	返金(売上)(残高なし)	VoidPostAuth
売上(与信売上)	AuthCapture	与信売上	AuthCapture
返金(与信売上)(残高あり)	RefundAuthCapture	与信売上	AuthCapture
返金(与信売上)(残高なし)	VoidAuthCapture	返金(与信売上)(残高なし)	VoidAuthCapture
承諾	Consent	承諾	Consent
決済認可(解約)	UserConsentTerminatePreAuth	承諾	Consent
解約(3 者間)	UserConsentTerminate	解約	Terminate
解約(2 者間)	ConsentTerminate	解約	Terminate
抹消	ConsentDeregistration	抹消	Deregistration
売上要求(与信売上)	AuthCaptureReq	売上要求	AuthCaptureReq
売上要求取消(与信売上)	AuthCaptureReqCancel	売上要求取消	AuthCaptureReqCancel

表 6-3-1 詳細コマンドタイプと詳細オーダー決済状態

注) 一覧に記載していないコマンドタイプと状態も存在します。

6-4 PayPay アプリへのプッシュ通知

PayPay（オンライン決済）において、PayPay から PayPay アプリへのプッシュ通知内容とタイミングを以下に示します。

No	項目名	説明
1	金額	決済金額/返金金額。
2	取引番号	PayPay 社より払い出される番号。 消費者が PayPay 社に問い合わせする時などに利用します。
3	店舗名	商品・サービスを提供するサイト名。契約時のエントリーシートに記載する「サービス名称」と同じ値です。
4	与信期限	取引の与信有効期限。詳細は「与信有効期限について」を参照して下さい。 与信後売上方式の取引の場合のみ通知します。

表 6-4-1 プッシュ通知に表示される項目

通知タイミング	都度決済	随時決済	通知項目	説明
決済申込完了時	○	－	金額/取引番号/店舗名/与信期限	購入内容の通知。 与信後売上取引の場合、与信内容の通知。
取消完了時	○	－	金額/取引番号/店舗名	与信後売上取引で取消処理を行った際の与信取消内容の通知。
売上完了時	○	－	金額/取引番号/店舗名	与信後売上取引で売上処理を行った際の売上確定内容の通知。
再与信完了時	－	○	金額/取引番号/店舗名	購入内容の通知。
再与信残高不足時	－	○	－	残高不足の通知。 消費者支払い要求の実施/未実施に関わらず、再与信で残高不足が発生した場合に通知します。
再与信支払い要求時	－	○	金額/取引番号/店舗名	再与信で残高不足時に消費者支払い要求を行った際の要求内容の通知。 PayPay アカウントに登録した携帯電話番号へ、プッシュ通知と同じ内容の SMS 通知も送信します。
返金完了時	○	○	金額/取引番号	返金内容の通知。

表 6-4-2 プッシュ通知タイミングと通知内容

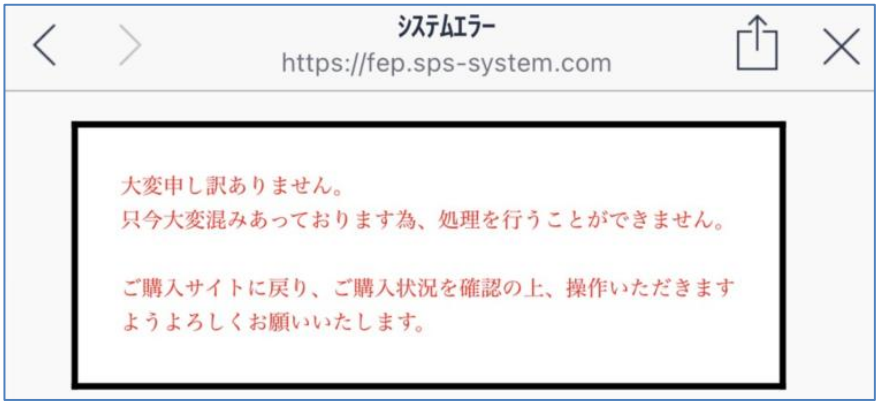
※通知内容は、PayPay の仕様に従うため、変更となる可能性があります。

PayPay アプリへのプッシュ通知やアプリの取引履歴に表示される「取引番号」は弊社決済サーバーから以下の仕様で連携します。

都度決済	項目名「centerOrderId(決済センターの管理番号)」として連携します。 申込後の消費者ブラウザから店舗側の完了画面へリダイレクト、決済申込完了通知、検索結果で連携します。 管理画面（MAP）でも「決済センターの管理番号」として取引情報に表示する他、PayPay の個別検索条件として当該項目での取引情報検索も可能です。
随時決済	随時決済取引において申込（承諾）の時点では発行されず、再与信による売り上げ処理が完了して発行される情報です。 項目名「centerOrderId(決済センターの管理番号)」として連携します。 再与信応答電文、再与信完了通知、検索結果で連携します。 管理画面（MAP）でも「決済センターの管理番号」として取引情報に表示する他、PayPay の個別検索条件として当該項目での取引情報検索も可能です。

6-5 PayPay への遷移時に表示されるシステムエラーについて

決済申込（Authorize）のレスポンスに含まれる responseContents は、必ず Shift-JIS でブラウザに返戻してください。
Shift-JIS 以外の文字コードで返戻した場合、以下のようなシステムエラー画面が表示され、決済に進むことができません。



なお、このエラーは、ダミーモード（テストモード）では表示されません。
必ず本番環境での本番動作確認を行っていただきますようお願いいたします。

6-6 スマートフォンでの都度決済における PayPay アプリ起動についての注意事項

スマートフォンでの都度決済では、加盟店サイトからの遷移の際に「PayPay アプリ」が自動で起動し、PayPay アプリの操作により決済が完了します。その後、「標準ブラウザ」が起動されて、新しいタブで加盟店様の URL（successUrl/errorUrl）が呼び出されます。

- 決済を開始したブラウザとは異なるブラウザが起動することがあります。
- 標準ブラウザで決済を開始した場合にも、新しいタブで処理が完了します。

この挙動により、加盟店様の Web アプリケーションのセッション情報等が引き継がれなくなる可能性が考えられますが、そのような場合にも、弊社決済サーバーからブラウザを経由して連携する決済結果を受け取り、正常に処理できるように実装してください。

なお、PayPay アプリの起動は弊社決済サーバーが返戻した responseContents をブラウザに送信した後に遷移する SBPS システムの制御により自動で行われますが、何らかの理由で PayPay アプリが起動しなかった場合には、PC と同様にブラウザ上での遷移となり、ブラウザにログイン画面が表示されます。

6.6.1 スマートフォンアプリ（加盟店アプリ）のアプリ内ブラウザを利用する場合

スマートフォンアプリ（以後、加盟店アプリと呼びます）のアプリ内ブラウザを利用する場合も、通常のブラウザ（Chrome や Safari）を利用した場合と同様の制御が SBPS システムの仕様により行われます。ただし、通常のブラウザとアプリ内ブラウザでは完全に同じ動作とはならない場合があり、加盟店アプリの実装において、アプリ内ブラウザをどのように制御しているかにより、挙動は変わってきます。例えば、アプリ内ブラウザから別の Window や別のアプリが起動できないような制御を行っていたり、何らかの理由により PayPay アプリが起動しないことは起こり得ることです。PayPay アプリが起動しない場合にも、PC と同様にアプリ内ブラウザにログイン画面が表示されるため、決済を正常に完了させることは可能です。

一方で、アプリ内ブラウザからの遷移により PayPayアプリが起動する場合には、通常のブラウザからの遷移と同様に「標準ブラウザ」が起動されて加盟店様の URL が呼び出されることになるため、何もしなければ加盟店アプリには戻ることができません。

決済完了後に加盟店アプリに戻すためには、加盟店アプリを起動するためのランディングページを作成する必要があります。
申込要求電文(PaypayAuthorizeRequestDto)の決済完了時 URL(successUrl)には、作成したランディングページの URL を指定してください。

ランディングページ作成の例）

以下の設定を持つ加盟店アプリに遷移したい場合の HTML ページのサンプルを示します。

- 起動時の URL スキーム ： paypaysample
- 起動時の URL ホスト ： www.example.com
- 起動時の URL パス ： result

```
<!DOCTYPE HTML PUBLIC "-//W3C//DTD HTML 4.01 Transitional//EN">
<HTML>
<HEAD>
<TITLE>アプリ起動</TITLE>
</HEAD>
<SCRIPT language="javascript" type="text/javascript">
  window.location.href = "paypaysample://www.example.com/result";
</SCRIPT>
<BODY>
〇〇アプリを起動します。
</BODY>
</HTML>
```

6.6.2 加盟店アプリ利用時の遷移種別(transitionType)の指定について

スマートフォンアプリ（加盟店アプリ）からの遷移で PayPay アプリが起動するとき、SBPS システムの制御により PayPay アプリ起動前後で標準ブラウザが起動しますが、都度決済時の申込要求電文(PaypayAuthorizeRequestDto)で遷移種別(transitionType)を指定することで、標準ブラウザが起動する事象を回避することが可能です。

【transitionType 未指定の場合（例）】



加盟店アプリと PayPay アプリ連携間でスマートフォンの標準ブラウザ起動が発生します。

【transitionType を指定する場合】



遷移種別(transitionType)の指定により、加盟店アプリと PayPay アプリ連携間のブラウザ起動を回避することができます。

- 現在の仕様では、"1"：アプリから遷移（WebLink） を指定してください。

6.6.3 加盟店アプリ利用時の PayPay 起動に問題が発生する場合の対処について

上で説明した transitionType の指定等の対処を行っても PayPay 起動に関連する問題が発生する場合は、アプリ内ブラウザを利用せずに、標準ブラウザを起動して遷移させること（responseContents を標準ブラウザを起動して送信し、SBPS システムに遷移させること）をお勧めします。標準ブラウザから遷移を開始することで、アプリ内ブラウザの実装により発生する問題は回避できます。

6-7 都度決済の売上、取消、返金で保留が発生した場合の対処について

都度決済の売上、取消、返金の要求において、弊社と SBPS システムの通信異常等により処理の状態が不明となった場合は、以下のレスポンスを返し、MAP 管理画面上の取引履歴にはそれぞれの要求が保留として記録されます。

処理結果コード（mstatus）	：pending （保留）
詳細結果コード（vResultCode）	：1E50
管理画面ステータス	：【売上】（保留）／【キャンセル】（保留）／【返金】（保留）

保留（pending）が発生した場合は、それぞれ次のように対処をお願いします。

■ 【売上】（保留）の場合

売上を再度要求してください。再度エラーが返戻された場合は、詳細結果コードを添えてテクニカルサポートにお問合せください。

■ 【キャンセル】（保留）の場合

取消を再度要求することはできません。弊社にて状況に応じて対応いたしますので、テクニカルサポートにお問合せください。

■ 【返金】（保留）の場合

返金を再度要求することはできません。弊社にて状況に応じて対応いたしますので、テクニカルサポートにお問合せください。

✓ テクニカルサポートにお問合せいただく際には、マーチャント ID（下 5 桁）と取引 ID をご連絡ください。

✓ 随時決済をご利用の場合は「6.8.3 再与信および取消、返金に対する「保留」が発生した場合の対処について」を参照してください。

6-8 随時決済の取引履歴に関する補足

随時決済における「再与信」では、与信に問題がなければ売上の処理まで行われますので、MAP 管理画面上の取引履歴には通常、ステータス【売上】が記録され、その後、返金が行われた場合はステータス【返金】が記録されます。
ただし、消費者の残高不足から「支払い要求通知」が送信された場合等の処理過程では、その他のステータスの履歴が追加されます。

6.8.1 再与信で消費者への「支払い要求通知」が送信された場合

再与信の要求時に消費者への「支払い要求通知」が送信された場合、決済サーバーからは以下のレスポンスを返戻し、MAP 管理画面上の取引履歴にはステータス【売上要求】（成功）が記録されます。

詳細結果コード　　：1G21
管理画面ステータス　：【売上要求】（成功）

ステータス【売上要求】（成功）となった取引は、その後、消費者が支払い操作を行うとステータス【売上】（成功）が記録されます。

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	成功	1G210000000000000
2024/01/17 13:02:00	売上	1000	成功	1001000000000000

消費者が支払い操作を行わなかった場合等、売上が成立しなかった場合にはステータス【売上】（失敗）が記録されます。

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	成功	1G210000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	失敗	1G340000000000000 *

＊上の例の結果コード（1G34）は、支払い有効期限が超過したことを示しています。その他のエラーが発生する場合もあります。

6.8.2 「支払い要求」の取消を行った場合

消費者への「支払い要求通知」が送信された後、支払い操作が行われる前であれば、支払い要求の取消を行うことができます。
支払い要求の「取消」を行った場合、MAP 管理画面上の取引履歴には、ステータス【キャンセル（売上要求）】が記録されます。

取消が成功した場合は、ステータス【キャンセル（売上要求）】（成功）が記録されます。

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	成功	1G210000000000000
2024/01/17 13:15:00	キャンセル（売上要求）	1000	成功	1001000000000000

取消が失敗した場合は、ステータス【キャンセル（売上要求）】（失敗）が記録されます。

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	成功	1G210000000000000
2024/01/17 13:07:00	キャンセル（売上要求）	1000	失敗	1G010000000000000

また、支払い有効期限が超過したタイミングでステータス【売上】（失敗）が記録されます。

2024/01/17 13:15:00	売上	1000	失敗	1G340000000000000

6.8.3 再与信および取消、返金に対する「保留」が発生した場合の対処について

随時決済の再与信（売上／売上要求）、取消（支払い要求の取消）、返金の要求において、弊社と PayPay（SBPS）の通信異常等により処理の状態が不明となった場合は、以下のレスポンスを返し、MAP 管理画面上の取引履歴にはそれぞれの要求が保留として記録されます。

処理結果コード（mstatus）　：pending　（保留）
詳細結果コード（vResultCode）　：1E50　または　1E52
管理画面ステータス　：【売上】（保留）／【売上要求】（保留）／【返金】（保留）／【キャンセル（売上要求）】（保留）

保留（pending）となった取引については、弊社システム側で定期的に SBPS システムへの状態確認を行い、ステータスの更新を行います。保留後のステータス更新時には、一部のステータス（【売上要求】（保留）⇒【売上】（成功））を除き、システムによる結果通知は送信されませんので、保留が発生した際には、しばらく待ってから MAP 管理画面にて状態のご確認をお願いします。通常は、およそ 20 分程度でステータスの更新が行われ、MAP 管理画面上に取引履歴として記録されます。

■【売上】（保留）の場合

①-1【売上】（保留）⇒（成功）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	成功	1001000000000000

①-2【売上】（保留）⇒（失敗）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	失敗	1G170000000000000

■【返金】（保留）の場合

②-1【返金】（保留）⇒（成功）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	返金	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	返金	1000	成功	1001000000000000

②-2【返金】（保留）⇒（失敗）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	返金	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	返金	1000	失敗	1G130000000000000

■【売上要求】（保留）の場合

③-1【売上要求】（保留）⇒【売上要求】（成功）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	保留	1E520000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上要求	1000	成功	1G210000000000000

③-2【売上要求】（保留）⇒【売上要求】（失敗）

このケースは存在しません。

売上要求に失敗した場合には、③-4 のケースとなります。

③-3【売上要求】（保留）⇒【売上】（成功）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	保留	1E520000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	成功	1001000000000000

③-4【売上要求】（保留）⇒【売上】（失敗）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	売上要求	1000	保留	1E520000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	失敗	1G340000000000000

■【キャンセル（売上要求）】（保留）の場合

④-1【キャンセル（売上要求）】（保留）⇒（成功）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	キャンセル（売上要求）	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	キャンセル（売上要求）	1000	成功	1001000000000000

④-2【キャンセル（売上要求）】（保留）⇒（失敗）

このケースは存在しません。

キャンセル（売上要求）に失敗した場合には、④-3 または ④-4 のケースになります。

④-3【キャンセル（売上要求）】（保留）⇒【売上】（成功）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	キャンセル（売上要求）	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	成功	1001000000000000

④-4【キャンセル（売上要求）】（保留）⇒【売上】（失敗）

取引日時	ステータス	金額	取引結果	結果コード
2024/01/17 13:00:00	キャンセル（売上要求）	1000	保留	1E500000000000000
2024/01/17 13:15:00	売上	1000	失敗	1G340000000000000

第7章　導入・テストに関する補足

決済サーバーに接続し、テストを実施するための各種手続き・手順の詳細につきましては、『導入テストガイド』を参照してください。

弊社では、PayPay（オンライン決済）のテストのための疑似環境を提供しています。

各決済種別のシミュレート方法について以下をご確認下さい。

7-1 決済申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする（都度決済）

Authorize コマンドの結果として返戻されたレスポンスコンテンツを表示させると、以下の疑似環境に自動的に遷移します。



図 7-1-1　疑似環境（ダミーPayPay ページ　ログイン画面）



図 7-1-2　疑似環境（ダミーPayPay ページ　購入内容確認画面）



図 7-1-3　疑似環境（ダミーPayPay ページ　決済結果画面）

各画面の選択と、決済結果画面からの遷移先の対応表を以下に記載します。

ログイン画面	購入内容確認画面	決済結果画面	決済結果画面からの遷移先
ログイン（成功）	支払う（成功）	次へ（成功）	決済完了時 URL
ログイン（成功）	支払う （失敗：処理結果 NG）	次へ（成功）	決済エラー時 URL
ログイン（失敗）	※1	次へ（成功）	決済エラー時 URL
※2	※2	次へ（失敗）	決済サーバーのエラー画面

- ※1 疑似環境のログイン画面で失敗を選択した場合、決済結果画面に遷移します。
- ※2 疑似環境のログイン画面、購入内容確認画面の選択に関係なく、決済結果画面で失敗を選択した場合、決済サーバーのエラー画面に遷移します。

7-2 決済申込/解約申込時のエラー画面への画面遷移をシミュレートする（随時決済）

Authorize コマンドおよび Terminate コマンドの結果として返戻されたレスポンスコンテンツを表示させると、
以下の疑似環境に自動的に遷移します。



図 7-2-1 疑似環境（ダミーPayPay ページ ログイン画面）

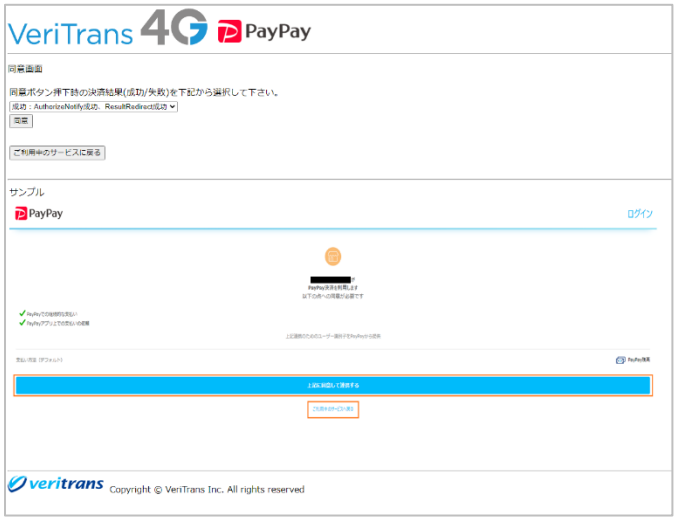


図 7-2-2 疑似環境（ダミーPayPay ページ 同意画面）



図 7-2-3 疑似環境（ダミーPayPay ページ リダイレクト画面）

各画面の選択と、決済結果画面からの遷移先の対応表を以下に記載します。

ログイン画面	同意画面	リダイレクト画面	疑似環境画面からの遷移先
ログイン（成功）	同意（成功）	－	決済（解約）完了時 URL
ログイン（成功）	同意 （失敗：処理結果 NG）	－	決済（解約）エラー時 URL
ログイン（成功）	ご利用中の サービスに戻る	－	決済（解約）エラー時 URL
ログイン（失敗）	※1	次へ（成功）	決済（解約）エラー時 URL
※2	※2	次へ（失敗）	決済サーバーのエラー画面

- ※1　疑似環境のログイン画面で失敗を選択した場合、リダイレクト画面に遷移します。
- ※2　疑似環境のログイン画面の選択に関係なく、リダイレクト画面で失敗を選択した場合、決済サーバーのエラー画面に遷移します。

7-3 返金/取消/売上/再与信コマンドのエラーをシミュレートする

ReAuthorize、Cancel、Refund および Capture コマンドの要求金額（"amount"）の下一桁の値を調整することで、
意図的にエラーを発生させることができます。
要求金額の下一桁と、返戻される vResultCode の対応表を以下に記載します。

<table>
<tr><th rowspan="3">金額の
下 1 桁</th><th colspan="2">ReAuthorize （再与信）</th><th rowspan="3">Cancel
（取消）</th><th rowspan="3">Refund
（返金）</th><th rowspan="3">Capture
（売上）</th></tr>
<tr><th colspan="2">支払い要求実行フラグ</th></tr>
<tr><th>true</th><th>false</th></tr>
<tr><td>0</td><td colspan="2" rowspan="3">1001（成功）</td><td colspan="2">1001（成功）</td><td rowspan="3">1001（成功）</td></tr>
<tr><td>1</td><td colspan="2">1GD2（失敗）</td></tr>
<tr><td>2</td><td colspan="2">1E50（ペンディング）</td></tr>
<tr><td>3</td><td colspan="2">1GD6（失敗）</td><td colspan="2" rowspan="5">1001（成功）</td><td>1GD5（失敗）</td></tr>
<tr><td>4</td><td colspan="2">1E50（ペンディング）</td><td>1E50（ペンディング）</td></tr>
<tr><td>5</td><td>1G21
（成功：売上要求）</td><td>1G02
（失敗：残高不足）</td><td rowspan="4">1001（成功）</td></tr>
<tr><td>6</td><td colspan="2" rowspan="4">1001（成功）</td></tr>
<tr><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td></tr>
</table>

- ReAuthorize コマンドで支払い要求実行フラグ=true を設定して金額末尾 5 円を指定すると取引は売上要求中となります。
  その後決済サーバーより非同期にプッシュ先 URL へ再与信完了通知を送信します。
  通知未受信の場合には検索（Search）で取引の状態をご確認下さい。
- Cancel コマンドの場合、都度決済では与信金額が、随時決済は再与信時の金額が要求されたものとして動作します。
- 金額未指定の Refund の場合、コマンド実行時点の売上全額が要求されたものとして動作します。
- 金額未指定の Capture の場合、与信金額の下一桁で判定します。
- 返戻されるエラーコード（vResultCode）につきましては、今後、予告なしに変更させて頂く場合がございます。